京城日報

一日夕刊

本紙定價 一部[illegible] 一ヶ月金[illegible] 三ヶ月金[illegible] 六ヶ月金[illegible]
廣告料 ▲五號活字一行金[illegible] ▲[illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話[illegible]

□皇太子殿下御陞進

皇太子殿下に對し三十一日天長節祝日を以て陸海軍大尉に御陞進の御沙汰あり德川侍從次長は同日午前九時聖旨を奉じ左の官記を捧持して東宮御所に伺候し官記を傳達せり

陸軍步兵中尉大勳位 裕仁親王
任陸軍步兵大尉

海軍中尉大勳位 裕仁親王
任海軍大尉

同時に皇太子殿下には從來第一艦隊附に在しましゝも左の如く御轉補の御辭令あり又陸軍は從來の近衞步兵第一聯隊附の御事なりと

海軍大尉 裕仁親王
補第一艦隊司令部附

右に就き殿下には午後一時東宮御所御出門陸軍步兵大尉の御正裝にて入江侍從長以下從へ御禮の爲め參內遊ばされたり（東京特電）

◎獨陸相司令官の更迭

アムステルダム來電＝伯林電報に依れば獨逸陸相ホウエンホルン將軍は西部戰線獨軍司令官に任命されシュタイン將軍陸相に任ぜられたり（紐育電報）

◎勅使東京出發

立太子禮御奉告の爲め伊勢大廟及び桃山御陵に差遣せられたる勅使一日朝東京驛發西下せり（東京電報）

◎東京市民の熱狂

東京市民は立太子式奉祝準備に熱狂し市中壯觀を極めつゝあり（東京電報）

◎大演習御裁可（幹部）

陸軍特別大演習幹部北軍司令官陸軍中將井口省吾氏南軍司令官陸軍中將大迫尙道氏以下三十一日を以て其れ〳〵御裁可ありたり（東京電報）

◎演習參加部隊

●大演習前に旅團演習及び師團演習

福岡縣下に於て行はるゝ大演習參加の第五師團司令部は一日門司通過南下せり二日は特科隊通過すべく其れにて演習參加部隊は全部九州に入ることなる譯なるが參加部隊は九日迄旅團演習及び師團演習を爲し十一日より大演習に參加する筈なり（門司特電）

◎學校衞生主任會議

岡田文相は一日午前十時より各府縣學校衞生主任會議を召集し學校衞生行政並に學校衞生調査機關の設置に關し協議せり（東京特電）

◎隈侯後援會解散

大隈侯後援會にては三十一日午後一時より早稻田大隈侯私邸に於て解散式を擧行せり（東京電報）

◎加奈太汽船會社員

加奈太太平洋汽船會社旅客係長ベンジヤミン氏夫妻及び同社橫濱支店長ジヤクソン氏夫妻は一日朝入港さくら丸にて來釜午前十時三十分發列車にて京城へ向け出發せり（釜山特電）

中國銀行の兌換開始

久しく兌換停止中なりし中國、交通、兩銀行の紙幣は仲秋以來市價日に落ちて下落し一般の市民の痛苦非常なりしが中交兩銀行の內中國銀行は昨廿六日より兌換開始するに至れり、當日參集せる人民を多數巡警にて秩序維持に務めその交換は前日の中法實業銀行の換に似ず整然として迅速に行はれ長時間中に於ても前日の如く取引され正金銀行にても同行紙幣を受付くるに至れり、寫眞は西交民巷に於ける同行兌換時の光景なり（北京）

◎立太子禮奉祝

總督府にては三日午前九時三十分より立太子禮奉祝式を擧行の筈なるが當日の式次を聞くに同府職員（雇員以上）一同は午前九時參廳九時十分の振正門內の廣庭に集合し同三十分の振鈴を合圖に山縣政務總監開會を告げ次いで萬歲を唱ふれば諸員之に和し唱和三回、更に東京の方向に對して敬禮を行ひたる後散會の筈なり

◎李王家御參賀

李王殿下は三十一日午前九時四十分昌德宮御出門總督官邸に成らせられ李大王殿下を兼ねて天長節祝賀の詞を述べられ、李堈公殿下も亦同刻總督官邸に御參賀ありたり

◎李堈公御參內

李堈公殿下は十月三十日午前十一時御參內 聖上陛下に拜謁を仰付られたる旨其の筋に電報ありたり

◎謝狀贈呈決定

一日原田會頭携行東上

京城商業會議所發起となり全鮮各會議所を糾合して感謝狀を贈呈すべく原田會頭より寺內總督の辭任につき其文案に對し贊成を求めたるに多少字句の修正を加へ各地商業會議所より贊成の意を表す旨回答ありたるを以て愈々左の如く決定したり同感謝狀は一日東上の原田氏自ら携行し著京の上寺內首相に面會し贈呈することゝなるべしと

感謝狀

朝鮮各商業會議所會頭等謹で內閣總理大臣寺內伯爵閣下に白す閣下大命を奉じ明治四十三年七月任に朝鮮に莅まれしより年を閱すること茲に六星霜當初に於て閣下が寸鐵を動かさず滴血を濺がず榛狙の間に併合の大業を遂行せられたるは中外の齊しく倶瞻する所にして復吾人の贅言を須ゐず爾來閣下夙夜孳々寢食を安ぜず秩序を混沌の中に整へ蒼生を窮厄の間に拯ひ産業を勸めて富源を興し敎化を施して人文に資し鐵路を縱橫に敷き坦道を四方に通じ航路を諸港に開き半島開發の施設に於て纖毫の遺缺あるなし客秋開催せられたる朝鮮物産共進會の盛況に徴するも有形と無形とに論なく半島進步の實蹟歷々として火を睹るよりも瞭かなり是れ職として閣下が優渥なる聖旨を奉體して施設の大綱を定め各般の經營其宜しきを得たるに由らずむばあらず是吾人の欣仰感荷措く能はざる所なり今や閣下朝鮮を去り更に國首相の大任に膺らるゝに方り茲に閣下の偉功を頌し鴻恩を銘謝す如今內外多事更に閣下に俟つ所多きを念ふ冀くば邦家の爲め自ら自愛せられんことを

大正五年十一月一日
仁川商業會議所會頭 奥田貞次郎
釜山同 大池忠助
木浦同 福田有造
鎭南浦同 西崎鶴太郎
元山商業會議所委員長 龜谷愛介
大邱商業會議所會頭 吉村鎭雄
平壤同 大橋恒藏
京城同 原田金之祐
內閣總理大臣伯爵寺內正毅閣下

◎辭令

三十日附を以て左の通り辭令ありたり

任朝鮮總督府警視 陸軍憲兵中尉 樋口佐吉
朝鮮總督府判事 膳鉦次郎
歐洲出張を命ず

◎小松氏送別會

過般中樞院書記官長兼外事課長を辭せる小松綠氏は七日頃退鮮東上の事に決せるより、石塚東拓總裁其の他官民有志十數名發起の下に四日午後六時より花月に於て送別會を催すことゝなり昨今有志の募集中なるが會費は五圓にて出席希望者は二日迄に總督府總務課、京城日報社若くは花月に申込まる可しと

▲總督官房催宴 總督官房高等官一同は三日午後六時半より喜久家に前中樞院書記官長小松綠氏を招待其送別宴を張ることゝなれり

◎鮮銀檢查局長

滿洲松田銀行部監督役中村光吉氏は十月三十日付を以て朝鮮銀行檢查局長に轉せり

◎膳判事歐洲出張

高等法院判事膳鉦次郎氏は司法行政に關する事項視察の爲め別項記載の如く三十日附を以て歐洲へ出張を命ぜられたり出發期は未だ確ならざるも多分本月中旬となる可し

◎室谷博士出張

京城衞戍病院長室谷博士は滿洲醫學會に列席の爲一日夜龍山發列車にて大連に向け出發す

◎上林道長官赴任

新任忠淸南道長官上林敬次郎氏は既報の如く一日朝八時半南大門發列車にて新任地公州に向ひたるが官民の見送り盛なりき

◎松永長官仁川行

松永京畿道長官は仁川高等女學校の學藝會及び仁川簡易商業學校開校式に臨場のため一日仁川に出張し府廳及び學校組合事務をも視察の上同日午後歸任せり

◎大藤少佐出發

總督副官より元帥專屬副官に轉じたる大藤少佐は一日朝八時半發列車にて赴任東上せり

◎朝鮮輕鐵工事

朝鮮輕便鐵道會社の事業工程は曩に報道したる如く第一期布設區域たる大邱、浦項間百三十一哩にして其內第一工區たる大邱、河陽間十五哩の實測は既に大半を終了し漸次進捗しつゝある由なるが當初の豫定線は大邱（十五哩）河陽（二十三哩）永川（四十四哩）慶州（六十四哩）浦項に軌道を布設するものにして永川は市場を距る一哩餘の地點を通過する設計なりしより永川市民は土地使用に如何なる便宜をも謀るべきを以て市場に添ひ布設せられんことを懇望し來りたると永川、浦項間の大市場たる安康を除外したるは貨客收集の點に於て大不利を來すべきを以て豫定線は之等の事情を參酌し第一比較線（大邱より河陽に至り豫定線の地たる永川を去る一里の地點を經て慶州に出で曲折して安康に至り浦項に達するもの）第二比較線（大邱より河陽を經て永川市場に通じて安康に至り直ちに浦項に達し慶州には枝線を布設するもの）豫定及び比較兩線の內何れの線路を採るも哩數に於ては更らに增減を見ざるを以て調査の結果愈よ布設の場合には多少大られずと而して大近く終了すべきを以て來る十二月十日迄には區分布設認可の申請を爲すべければ來年一月下旬迄には認可を得べく同時に工事を入札に附し二月中に起工し來年七月頃には是非共開通せしめんとする結氷季間に作業に著手することとなれば果して豫定の時日に竣工するを得べきや今日未だ確定はなし難きも大體此の方針に於て進捗すべし而して使用枕木は本年十二月中旬には購入の手續を爲すべく軌條は枝光製鐵所に注文を爲し置けるも本年度內は海軍及び鐵道院其他官廳の注文に依る製出に全く使用せらるべければ來年四月頃には製造に著手すべく約束なりとされば僅か本線路に給用すべき六千砘百三十哩位は同所にては數日間も掛らず製出し得べきを以て更らに心配を要せず又た汽罐車は滿鐵又は鮮鐵に依託することに決定し居れりと鈴木輕鐵幹事は語れり（釜山）

初霜初雪初氷

▲初霜

地名	本年	昨年との比較	平年との比較
平北慈川	九月廿七日	—	—
慶南宜寧	十月廿五日	—	—
平北鐵山	同	—	—
慶北尙州	十月廿六日	早二日	—
京畿京城	同	早二日	晩十一日
同驪敎府	同	晩三日	—
咸南洪原	同	—	—
黃海瑞興	十月六日	—	—
平南永柔	十月廿五日	—	—
慶南陝川	十月廿六日	—	—
慶北星州	同	—	—
京畿九平	同	晩三日	—
平南鎭南浦	同	—	—
咸南永興	同	早三日	—

▲初雪

地名	本年	昨年との比較	平年との比較
平北厚昌	十月十五日	早四日	—
同慈川	同	—	—
平北慈城	十月十五日	早四日	—

▲初氷

地名	本年	昨年との比較	平年との比較
咸北茂山	十月十九日	早一日	—
平南順川	十月廿五日	—	—
平北龍岩浦	同	早三日	晩三日
同雲山	同	—	—
忠北堤川	十月廿六日	—	—
京畿議政府	同	早二日	—
江原鐵原	同	—	—
黃海谷山	同	—	—
平北定川	同	早一日	—
咸南咸興	同	—	—
黃海長山	十月廿七日	早一日	—
平南成川	同	早一日	—
咸北雄基	同	晩七日	—
京畿利川	同	—	—
平南平壤	十月廿五日	早三日	晩五日
同德川	同	晩二日	—
平北泰川	同	—	—
全北鎭安	十月廿六日	—	—
京畿漣川	同	—	—
江原平昌	同	—	—
同金化	同	晩十三日	晩二十日
平南安州	同	早二日	—
咸南永興	同	早六日	—
京畿京城	十月廿七日	早一日	晩一日
黃海瑞興	同	—	—
咸南元山	同	早一日	早六日
忠北鎭川	十月廿八日	—	—

◎研究會紀念會

既報の通り永樂町研究會にては去月三十日創立五週年に相當するを以て紀念會を開催し吉田英三郎氏會長代理として同會の沿革並に現在の情況を述べ次で小松書記官長の時間に關する講演あり新講師青木商工課長を紹介し同會卒業生を以て組織せる會友倶樂部幹事長及び幹事の互選を行ひ終て宴會に移り參會者二百數十名各々歡を盡して午後八時散會せり

◎商業會議所役員會

京城商業會議所は二日午後一時より工業部委員會を開會し家庭工業懸賞案の審査をなす筈なるが引續き五日午後一時より役員會を開會し最後の審査を行ふと共に當選者たる可き神宮新三郎、金鳳鉉の兩氏に對する賞金授與の方法等につき打合すべしと

◎修了式と新學期

京城簡易商業專修學校は客月二十八日第一回の修了式を擧行したるに國語科四十一人算術科十七人國語算術科十七人商業及び簿記科十六人朝鮮語科十六人英語科三十七人合計百三十四人の修了者ありたり尙ほ露語科は授業の都合上修了期を二箇月間延長することゝなり其他前記各科の修了者にして引續き他の科目の修業を爲すもの多き模樣なり目下同校は新學期入學申込受付中なれば希望者は此際至急申込まれたしと

◎奉天敎育視察團

奉天省東邊道敎育視察團一行は八日南大門驛着汽車にて入京其の筋に電報あり一行の員數視察の日程等は未だ不明なり

[illegible]豫て受驗中なりし[illegible]試驗成績は一日を以て發表されたるが合格者九名にして其受驗番號左の如し
第二號、第三號、第四號、第五號、第七號、第拾壹號、第拾貳號、第拾八號
因みに實地試驗は二、四、六、七日の四日間に亙り一日一時間乃至二時間の割合にして醫學專門學校にて執行すと

仁川

▲黃海道米作と仁川 仁川穀物協會松本書記の黃海道農況視察談に依れば同道に於ける米の作柄は第一回豫想當時に於ては非常に良好にて平年作に比し水稻五分八厘、陸稻二分三厘增收の見込みなりしが其後冷氣早催の結果品質共に佳良なれ共株割少き爲め實收高は豫想以下なる可く昨年に比し大差無かる可しと一般に觀測されつゝ有りと然して大正四年中に於ける同道より仁川に廻著したる玄米及び籾は十二萬二千百七十五石に達したるを以て本年は年々の增加率に徴しても十五萬石以上の廻著米ある見込みなりと▲簡易商業開校式 仁川商業學校內公立簡易商業學校にては一日午後二時より開校式を擧行したり▲櫻井敎授參觀 米澤高等工業學校敎授櫻井虎之助氏は三十一日午前十時仁川高等女學校學藝品展覽會を來觀の上同日午後一時半京城に向け出發したり▲賃行委員會 共益社大豆運賃問題に關し同賃行委員會を一日午後一時より仁川商業會議所樓上に於て開催したり▲前總督感謝狀 仁川商業會議所にては既報の如く三十日午後七時より評議員會を開き寺內前總督に對し感謝狀を進呈すべく萬場一致を以て決議し決議文は十一月一日東上すべき原田京城商業會議所會頭に申達方を依賴したり

光州

▲棉花廻著高 廿五日迄に木浦三棉業工場へ廻著せし棉花は僅々二萬二千斤にして昨年の同日は百七十萬斤の廻著ありたるに比すれば正に百分の一に過ぎず啻に木浦のみならず各地工場とも同樣にして以て本年の棉花出廻りの遲れたるを證するに足るべく爲めに地方農民の購買力は依然不振也▲靑島行の海女歸還 濟州の海女約六十名は曩に廣島縣人荒川某に引率されて靑島の海藻採取の爲め同地へ出稼し居たるが今回荒川某との間に海藻買收値段に衝突を起し先般六十名は同盟して同地を引揚げ歸島したり然れども靑島の海藻は豐富に付値段折合はゞ再び渡船を辭せずと稱し居る由▲普通學校運動會 光州普通學校は十一日を以て創立滿十周年に相當するより一日繰上げ卅一日天長の佳節をトし[illegible]に於て記念運動會を開催せしが宮木長官其他來賓多數臨席し父兄の參觀亦多く盛會裡に散會せり▲前田法院長歸任 井邑南原其他各支廳巡視中なりし前田光州法院長は廿八日歸任せり

大邱

▲立太子禮協議會 三十日午後一時より大邱府廳に於て立太子禮に付き協議の結果當日は大邱府廳を式場となし[illegible]者の主唱により萬歲を三唱し宮內大臣、東宮職に祝電發送式後太神宮參拜各戶に國旗軒提灯掲揚等を爲し散會せし▲龜尾學校開校式 京釜線龜尾驛は愈々十一月一日より開通せし故龜尾學校組合は此日を卜して設立認可を得たる龜尾公立尋常小學校開校式を午前十時より該校に於て擧行し臨席者百餘名盛會なりき▲金醴自動車全通 慶北金泉醴泉間自動車は八月降雨以來金泉咸昌間の途中橋梁修繕工事中にて醴咸間運轉休止中の處工事完成し愈々二十八日より運轉を開始せり

釜山

▲壹岐丸荷物專用 十一月十四日より壹岐丸は關釜連絡荷物專用として運航する筈なるが右は下の關に於ける季節柄多物の鮮滿移出貨物の停滯せるを以てなりと▲先月水產水揚高 釜山水產會社に於ける十月中水揚高は昨年當月に比ずれば三割以上の減收なるが其原因とするは一般不漁も伴ひ居れ共大部分は虎疫流行に際し漁夫漁村船夫に患者發生の爲め出漁船の少なきと一方各漁場の漁撈禁止等に因れり然れ共最近に至り停留漁船も漸次解除せらるゝと共に各漁場の解除を見るに至りたれば十一月は初旬より本月に比し數倍の盛況を見るべし

人事消息

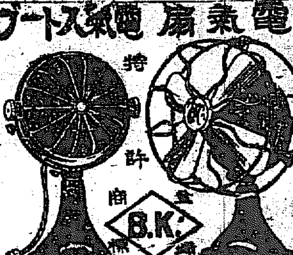
▲今西龍氏（京都帝大文科助敎授） 三十一日朝入京不知火へ
▲白川友一氏 三十一日朝入京
▲木尾虎之助氏（辯護士） 三十一日朝歸京
▲林市藏氏（東拓理事） 三十一日朝元山へ
▲三島太郎氏（鮮銀理事） 三十一日夜內地へ
▲李秉武子爵 三十一日午後鳥致院より歸京
▲岩本以明氏（京城地方法院長） 三十日夜水原より歸京
▲吉田幸三郎氏（京城憲兵隊副官） 同上
▲サロイスキー氏（浦潮駐在露國領事） 三十日夜入京露國領事館へ
▲田中善氏（黃海道第一部長） 三十一日夜入京浦尾へ
▲野坂茂三郎氏（野坂農場主） 同上
▲出羽重三氏（步兵少佐） 同上
▲久米作藏氏（松田商會釜山支店長） 三十日夜入京
▲平野喜介氏（九十四會員） 同上
▲柿崎國太郎氏（大阪府技師） 三十一日夜入京巴城館へ
▲北原春太郎氏（東北滿州農商支店長） 三十一日夜入京南光館へ
▲淺野紋右衞門氏（騎兵大尉） 同上
▲向坂茂三郎氏（水原模範場技師） 入京中の處三十一日朝歸任
▲森爲三氏（森澤男令息） 同上
▲ブラツク氏夫妻（米人宣敎師） 三十日夜入京朝鮮ホテルへ
▲小川平吉氏（代議士） 廿九日午後釜山通過內地へ
▲岡田榮氏（辯護士） 殺人事件辯論の爲大邱に出張中の處三十一日朝歸京

□島兎氏の榮轉を祝す
籾摺歌新らしき親み 黃丘
[illegible]人を待ち申す 梅子

告 京城分會員
來三日立太子禮遙拜式ヲ大和町憲兵隊司令部集會所ニ於テ擧行候條午前九時迄ニ參集セラレタシ
帝國在鄉軍人會京城分會

小松氏送別會
中樞院書記官長小松綠氏今般退官歸東せらるゝに付來四日午後正六時より花月に於て送別會開催致候間御贊成被下度候
一、會費金五圓のこと
一、御贊成の向は二日迄に總督府總務課、京城日報社又は花月へ御申込のこと
大正五年十一月一日
發起人（いろは順）
石塚英藏 原田金之助 萩谷籌夫 子爵趙重應 子爵李夏榮 荻田悅造 金谷充 高野省三 松永武吉 馬詰次男 牧山耕藏 古海嚴潮 小宮三保松 國分三亥 秋山雅之介 阿部充家 木村雄次 白水淡

眼鏡
一 金緣 廿二金（二匁二分）一六、〇〇 二十金（二匁）一四、〇〇 十八金（一匁七分）一一、五〇
一 穴明緣無眼鏡 十八金 米國製金張 一銀赤銅
一 米國製金張 甲 三、四〇〇 乙 二、六〇〇
一 赤銅緣 甲 一、九〇〇 乙 一、四〇〇
一 銀緣 甲 一、五〇〇 乙 一、一〇〇
以上米國製 近視遠視（白黑）御好次第 サツクは上等皮製附
送料實費四十錢但振替送金の事
大阪市東區瓦町心齋橋筋 眼鏡寶石貴金屬商 上村重兵衞
電話本局三〇四九番 振替大阪六二六一番

電氣扇 ブートス氏電氣扇
夏の物冬の物

特許商標 B.K.
本店 東京市京橋區尾張町二丁目（電新二〇二〇） 工場 東京市芝區高輪北町五三（電芝四〇二） 大阪支店 大阪市東區[illegible] 出張所 橫濱市吉田町一ノ二九（電一九二三）
[illegible]電氣商會

李王殿下總督官邸參賀

芽出度さは今日ぞと祝ぎて 歡喜に輝きし天長節祝日の其夜其日

◇三鞭の盃 總督官邸受賀

天長節の祝日、倭城臺總督官邸にては正門に日の丸大國旗を交叉し庭前大公孫樹の黃色に輝けるあたり參賀の人々の劍光帽影相踵ぐの壯觀を呈せり此の日山縣政務總監は官邸大廣間の菊花を飾れる室にて公式受賀の儀を行ひ先づ總督府並に所屬官署の高官と共に三鞭の盃を擧げて聖壽の萬歲を祝し猶ほ朝鮮銀行、東洋拓殖會社を始め府内實業家の賀辭を受けたりまた李王殿下には午前十時五十分といふに陸軍大將の正裝にて御參賀閔長官小宮次官ともに山縣政務總監に對し天長節祝賀傳奏御依賴の御挨拶ありたるが續いて李埈公殿下にも馬車を驅つて參邸御挨拶ありたりまた京城外國領事團は英、米、露、佛、白、支の各總領事並びに領事館員等相次いで參邸祝辭を述べ猶ほ朝鮮貴族、中樞院參議、副參議等の參賀ありて式は午前十一時終了せり

◇神樂歌賑はしく 京城神社祭典

天長節の京城神社は既に早朝から多數の參詣者あり老松の翠色濃やかなるあたり神前の鳥居鯨幕神饌等いとも神々しく拜せられた、祭典は午前十時より執行修祓、神饌、祭主祝詞奏上に次いで祭主及び氏子總代の玉串奉奠ありて午前十一時に了り參詣者は午後より夜間まで引き續いた

◇劍光我皇の武を祝しつ 龍山練兵場の天長節祝日觀兵式

十一月三十一日午前九時より朝鮮第十九師團は龍山練兵場に於て天長節觀兵式を擧行す諸兵は午前七時三十分營舍を出で先頭には歩兵第七十八聯隊の鮮やかなる聯隊旗を朝日に輝かせ劉喨たる

▽**行進喇叭の**音に連れて歩武堂々と練兵場に繰込みて其の位置に著けば續いて野砲兵隊は砲車轆轤の音勇ましく人馬砂塵を衝いて練兵場に入り續いて騎兵隊亦練兵場に入り各其の位置に著く觀兵式諸兵指揮官池内大佐は各部隊の前面に在り東西に傳騎を馳せて命令を傳ふ午前八時五十分立花第十九師團長を初め各幕僚秋山駐劄軍司令官以下軍司令部高級將校は何れも大禮服綺羅美やかに

▽**馬上裕かに** 練兵場の東南より入場す氣を付けの號令は隊より隊に傳はつて備場肅として物の音を絕ち劍光薄日に輝きて軍容一層の威嚴を加ふ此の時聯隊旗の邊より劉喨として喇叭の吹奏起り人をして覺わず襟を正さしめたり此の間に師團長以下軍司令官以下は肅々と馬を進めて隊列を閱兵一巡して觀兵の位置に著けば諸隊は直ちに池内大佐の指揮の下に分列の隊形を作り歩兵七十八聯隊の聯隊旗を

▽**眞先に捧げ** 整々堂々と分列式を行ふ歩兵行き砲兵來り騎兵來る勇ましき行進喇叭に調節して隊列整然一絲を紊さず士氣旺盛見る者をして覺わず讚嘆の聲を發せしめたり分列式終つて師團長以下軍司令官以下吹奏喇叭に送られて練兵場を出づれば諸兵は前隊形に復し順次營舍に歸り午前十時無事觀兵式を終了せり

◇歌聲朗らかに 各學校遙拜式

天長節の府内各學校は内鮮人學校共何れも嚴肅なる奉祝の式を擧げ京城中學校及び東洋協會專門學校にては午前九時より儀式開始、御影拜禮の上校長の勅語捧讀及び職員生徒一同の君が代唱歌ありたるが京城高等女學校に於ても午前九時より儀式擧行同十時終了せり府内各小學校に於ては南大門、日出、櫻井、鍾路、西大門、元町、龍山の七小學校共何れも嚴肅なる式をあげ菊の香匂ふ式場には君が代の唱歌に校長の勅語捧讀及び御聖德に關する訓話ありて約一時間の後終了何れも可愛らしきリボンの少女や紋付羽織の少年達にて芽出度き佳節を奉祝し申し上げたり

◇清津初氷

二十四日日本海西部に發生せし低氣壓は清津地方の氣溫をして著しく低下せしめたるが二十七日朝は氣溫零下三度まで低下せる爲め結氷降霜を見るに至れるが之れ本年清津地方の初氷初霜なり

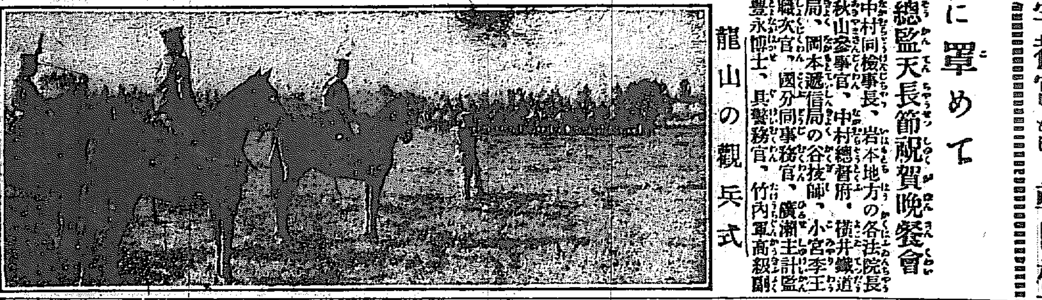
◇瑞氣 菊の灯影に罩めて 山縣政務總監天長節祝賀晩餐會

菊日和暮れたる三十一日午後七時、山縣政務總監は天長節祝賀のため在京城の主なる官民四十餘名を朝鮮ホテルに招待して淸宴を催ふされたり定刻前六時半頃より

【門】**車を驅つて** 集まれる人々は主人側なる政務總監を始め秋山軍司令官、國分、持地、鈴木の各局長、古海、白水の兩將軍、芳賀、佐藤、室谷の各醫學博士、松永、上林の府道長官、渡邊高等法院長、中村同檢事長、中村總督府、岩本地方の各法院長、横井鐵道局長、秋山參事官、小宮李王職次官、岡本遞信局の谷技師、國分同事務官、廣瀨主計監、豊永博士、具警務官、竹内軍高級副官、岡本師團參謀長、池内歩兵第七十八聯隊長、隈部大佐、金谷府尹、石塚東拓總裁、目下入京中なる德富貴族院議員、小松綠氏、木村鮮銀理事、原田朝郵社長、尹德榮子、趙重應子、金春熙男、秋田、藤川、久芳、大澤、郡山の各事務官、遠藤秘書課長、藤田參事官、蘇波通譯官、野津副官、阿京城日報社長の諸氏にして會場なる

□**大食堂には** 黃菊白菊の大鉢所狹きまでに置かれ馥郁たる淸香、純白の食卓さては參會文武大官の金色燦然たる衣袂に薫して蒔赤き灯影の小搖れと共に瑞氣靉靆たり、定刻食卓の開かるゝや談笑歡語の聲フォークの皿に觸るゝ音に相和して和氣靄々の趣き深く、やがて興、則なる頃、山縣政務總監は起ちて天皇陛下の

□**萬歲を三唱し**、衆之れに和し八時食堂を閉鎖し更に別室に於いて歡談委時、全く散會したるは午後八時半なりき



龍山の觀兵式

東西合併大相撲

三十一日午後七時著大阪支局發電

東京大阪合併大相撲は非常の好人氣にて三十一日より開場したるが天長節祝日にてはあり忽ち大入札止の盛況を呈したり初日の勝負手捌き二日目の取組は左の如し

△初日勝負 ○印は東京方

勝	負	勝	負
玉手山	○成瀨山	海山	○西國洋
五十嵐	○男島	○荒玉	上州山
○朝日嶽	○國見崎	○大門岩	熊ケ嶽
○一港	駒ケ嶽	○朝日山	龜鶴山
○常の花	大砲	響矢	○敷島
日出山	○龍ケ崎	黑鐵	○土州山
小若島	○宮城山	大泉	○寒玉子
○小常陸	大嵐	○九州山	朝日潟
○源氏山		西の森	
○栃木山	宮木山	○大の川	荒岩
○宇都宮	ひきを とし	朝日松	

朝日山、岩木山

右の内▼小常陸に大嵐は左四ツに渡るや塀り立て寄り切つて小常陸の勝▼九州山に朝日潟は鳥渡突き合ひ朝日頻りに左四ツに渡らんとするを九無二無三に突き立て突き出して九の勝は好取組なり

▼**源氏山に西の森** 西立ち上りさま右手を源の咽喉輪に當てゝ押し進み敵のタチろく所を一仕事せんとするや源氏土俵際に發し得意の二本差しとなるや廻り込み寄切つて勝▼栃木山に宮木山は一合して左四ツなるや栃木强引に吊らんとし宮木が發さんとするを鳥渡切返しを見せ宮の腰碎くるを透かさず倒し

▼**宇都宮に朝日松** 栃木の勝へ大の川に荒岩は烈しく突き合ひ右四ツと爲り荒の吊らんとするを外掛けに浴びせかけて大の勝は宇都進二無二突き掛け朝日の突返へす出ハナをそのまゝ押切らんとするを朝り込みそのまゝ左手を手繰つて廻いて小手投げを打ち朝日が殘して立日殘して右を差せば宇都その手を捲ち直らんとするを透かさずその左手を取つて引落し宇都の勝は大喝采

▼**黑瀨川に松の音** は松は右を差し黑瀨は左を差さんとして攻め合ひ遂ひに左四ツとなるや黑瀨寄り進み腰を落して寄り倒す際松打棄りを見せしも行司は已に松の體無し見認め黑瀨に軍扇を揚げしに大阪方より打棄り引きて同體なりとの物言ひを付け結局土俵預りにて黑瀨の勝と決せり▼大錦に有岩は有飛込んで左差しとなるを錦泉川に撓めてそのまゝ强引に極め倒して勝▼西の海に大門は左四つ大の寄るを下手投げにて西の勝

△中入後

綾川に大達は綾敵の右手を泉川に撓め出さんとしたるも利かず右四つとなり達より寄るを綾切返しを見せて殘し水入後前同樣にて引分

▼**千舟川に對馬洋** は千舟立上りさま對馬の左手を取つて小手投げを打ち對馬の殘すを透かさず三所攻めにて千舟の勝は喝采▼

黑瀨川 より 松の音　錦 有岩　西の海 大門　時の矢 より 朝 綠　大達　綾川 分　千舟川　對馬洋　伊勢濱 二瀨川　朝日山　加古川 釋迦嶽　岩木山

釋迦ケ嶽に加古川は左四ツ加古の吊るを釋迦殘し浴びせ掛くる時踏み越して加古の勝は惜しき相撲▼伊勢の濱に二瀨川は二瀨進二無二突きかけ左差して寄らんとするを伊勢一流の强引の小手投美事に極りて勝▼岩木山に朝日山(大錦改め)は岩木突掛けせず突き退け渡し込み朝日の勝にて午後六時半打出したり(大阪支局發)

△二日目の取組 右方大阪方

風車（小若島　荒玉）（朝日嶽　常の花）（朝風　太刀嵐）
一港（駒ケ嶽　龍ケ崎）（上州山　紅葉川）（鳴門岩　朝日山）
小男島（龜鶴山　國見崎）（黑鐵　駒泉）（大砲　成瀨山）
海山　朝緑（宮木山　敷島）（初嵐　宮城山）（日出山）
朝日潟　大門岩（土州山　大有若）（大の川　源氏山）（大嵐）
逆鉾　朝山（岩木山　寒玉子）（二瀨川）
玉櫻　栃木山（千舟川　荒岩）（對馬洋）
時の矢　綾の川（宇都宮　加古川）（小常陸　西の森）（大錦）
松の音（朝日松　黑瀨川）（九州山　伊勢濱）（大達　朝日山）（釋迦嶽　西の海　大泉）

辯論終結 談合事件 第五日の午後

大邱覆審法院に於ける談合事件公判第五日(卅日)午後は零時卅分より開廷赤尾辯護士は簡單明瞭に事實の眞相を摘示して

▲**無罪を主張し** 堀池辯護士は余の所見は第一審に於ても第二審に於ても一貫せり然れども第一審にては被告者側の訊問を省かんとし漸くにして加藤課長の喚問を許され第二審に於ては稻垣課長の喚問を許されしも本件は隨意契約なりと證言す之れと如何なる立證あつても第一審檢事第二審檢事共常に此證言を信ぜざりしも今回大屋

▲**長官に提出し**たる工事契約其申書の取寄せを願ひたる處明かに隨意契約と記せり證言ならば間違もあらんが苟も官文書に明記されたる文字なれば至極簡單明瞭の事態にして是を沒却するは不道理なり然るに檢事は騎虎の勢ひ前意見を貫かれんとするは甚だ遺憾に堪へず又談合

▲**豫定額と大差**なきを以て是を正當と認めざる可らず果して然らば何んぞ談合金を分配して其差額は政府をして尻拭せしむるなど言ひ得んや本件は飽まで無罪なりと結び木尾辯護士は詐欺罪と本件とは何等の交渉なし問題は隨意契約と競爭入札との二點の爭ひなれど證言其他の事實に徵して自體が隨意契約なるは爭ふ可らざる事實にて法理上何等の犯罪を構成せず

▲**鐵道局の證人**は何人を呼びても隨意契約と告白しをるに檢事は是に反對さるゝと云ふは其意を得ず大正三年八月會計事務章程を作り入札心得書には最低額に落札せしむの文字あるゆゑ隨意契約にても犯罪を構成すと云ふは例へば官廳には午前九時出頭と云ふ出勤時間の命令あるに官吏が事實九時半に出頭せしを告白するにも係らず、否な九時出勤と云ふ

▲**命令文字ある**ゆゑ九時半に出勤しても事實九時に出勤せるものとして是を罰せんとすると同樣の事にて誠に道理に合せず又本件が競爭入札なればとて犯罪は成立せず本件の如きは請負者の

▲**請負者の心理**狀態は決して犯罪を構成せず此關係を審にすればさる可らず彼等は誠實に入札せるも〔ふ〕にて入札は意志の表示なり此點は民法第九十三條を參考せられたし此の如き

ば何處にも詐欺を構成する點はなし故に無罪なりと結び加藤辯護士は被告等の嘆願書に就き申辯する所あり閉廷せしは午後二時半裁判長は陪席判事と協議し判決言渡は十一月九日なりと宣し社會の耳目を聳動せる本件は是にて控訴公判の辯論を終結せり(大邱特電)

黃興逝く

逝ける黃興

南方革命派の巨頭たる黃興氏は日本を去りて以來常に上海にありて南方派の爲めに畫策しつゝありしが痼疾の結核痛にて三十一日朝五時死去したり(東京特電)

▲**病名胃潰瘍** 黃興氏は先日來胃潰瘍の爲め療養中の處二三日前より病勢遽かに革まり多量の出血あり三十一日午前四時終に逝けり(上海特電)

●合併相撲休場

東西合併相撲の二日目は雨天のため休場となれり(大阪支局電報)

◇連絡船線 關釜連絡船釜

山釜發運航船線十一月一日より十日迄左の如く變更せり

九 朝著夕發　十 朝著夕發　(以下判読困難)

【讀者文藝】課題及び募集規程

新荷着

ボチヒル及グリーナ新式二連獵銃
リチヤアド最新式二連獵銃
スコット、ハリソン、ランカスタアニ連獵銃
ブローニング及ウキンチエスタア自働銃
獨逸製格安二連獵銃
米國製新式單身獵銃
雁鴨打巨孔二連及單身銃
歐米最新流行獵用具及獵服地
金丸製村田及元折單身銃ニハ特ニ英國製銃身ヲ用ヒビスケル、空氣銃、舶來裝彈、枝銃、射的銃、内國製雷汞品其他火藥、散彈、マイト等全備

横濱市本町
合資會社 金丸銃砲店
電話一五五及六五三番　振替口座東京四七一番
(正價報告書郵呈)

京城 朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
電話(局)三三一、(局)三三二、一〇六、一二六〇、六一三、一二六一、一六一三
振替口座京城三三三番
支店 東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山
出張所 鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾賓、營口
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

和洋ストーブ一式
煙突製造
ストーブ据付
板硝子ペイント塗料
京城本町二丁目(電話四二三番)
岩見伊勢松商店

内科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話一二七二・一三九〇九番

破天荒の新直段
驚き賜ふな今日より定價の五割引で買へるニッポノホン鷲印兩面盤斯界のレコードを破つた新直段
十一月新音譜が出ました最寄の特約販賣店へ御注文被下度特に鷲印と御指定を乞ふ
兩面盤壹枚定價金壹圓五拾錢也のものを金七拾五錢に片面盤壹枚定價金壹圓也のものを金五拾錢に買へます
目錄贈呈仕候 運賃及荷造代實費申受候
朝鮮總販賣元 京城本町二丁目 株式會社 日本蓄音器商會
電話一二八三番 振替京城六八四

吉田學明

人事百般鑑定需應す
鑑定料觀相五十錢當用易斷壹圓
鑑定時間 自午前九時 至午後十時
京城本町三丁目
大日本陰陽學會朝鮮支部

茶道速成講義錄
本會創立廿年目今利休の稱ある田中仙樵宗匠の懇切平易なる講義錄にして三ヶ月卒業
質問自在 秘傳開放 無師獨習 上達保證
今回新學期開講十一月一日第一號發行此の際三ヶ月分前納者に限り金一圓入會金全免 尚雜誌茶道一冊無代進呈
入會手續に及ばず著金次第送本す 振替口座東京一二五〇八二番
申込所 朝鮮京城南山町三 大日本茶道學會朝鮮支部
大日本茶道學會 東京市淺草區吉野町百〇三番地

天氣 十一月二日 晴れ

歡の日

天長節各地奉祝

▼滿船飾=釜山= 天長祝日は例年なれば遙拜式は勿論官民の祝宴會其他諸種の催しありて盛夜歡樂の巷と化し奉祝の至誠を表はすべきに本年は不幸惡疫の流行せる爲め相戒めて祝宴其他の催しを止め官吏及び重なる市民は府廳に學校生徒は各校舍に於て午前十時の式を擧げ港內碇泊の船舶は滿船飾を施し夜陰數十發の煙火を打揚げたる外何等の催しなかりしも本日は朝來天氣晴朗なりしと微風だも交へぬ温き好日和なりし爲め市民は一般に業を休みて衣裝を改め近きは龍頭山公園に散策を試むるもの遠きは東萊其他の近郊に行樂を恣にする等市外電車は發車毎に滿員を以て運轉し本町二丁目の相生館は本日の佳辰を撰び初興行を爲したると其他の活動寫眞館及び劇場何れも宵の頃に既に滿員の掲示を爲し市內の各料理店も相應に賑ひたるも一般靜肅に本日の佳辰を祝ひたりき

▼奉祝夜會=安東縣= 三十一日午前九時より安東領事館に於て御眞影奉拜式行はれ同十一時より安東神社秋季大祭執行せられ折からの降雨を犯して參集するもの多し驛つて公會堂に於て官民合同の奉祝會開かれ委員長吉川領事の奉祝文朗讀に次いで中野民團議長の音頭にて天皇陛下萬歲を三唱して祝宴に移り午後一時頃より隨意散會せり同六時より領事館に於て奉祝夜會催され內外官民の參集するもの多かりき此日前日來の降雨尙歇まざりしも市內各戶國旗を掲げて奉祝の誠意を表し朝來數十發の煙火打揚げられたるが夕刻に至り雨全く歇みたれば市內の要所々々は大小の角燈イルミネーション等を以て美々しく裝飾され人出多かりき

▼觀兵式=平壤= 朝來曇天なりしも風軟かに暖なり市內は各戶國旗及び提灯を掲揚し商店は幔幕を張り店頭菊花を陳列して裝飾し往來の人も觀覽の人肩摩轂擊の狀を呈せり平安南道廳に於ては午前九時三十分より廳內に於て御眞影拜賀式を行ひ在壤の高等官判任官同待遇者參賀祝酒を賜はりたり而して式後一般府民拜賀し同じく酒饌を賜はりたり又步兵第七十七聯隊に於ては豫報の如く午前十時より東練兵場に於て觀兵式を行ひ市川旅團長副官を隨へ臨時閱兵し野島聯隊長指揮の下に分列式を行なひ式後東方に向つて捧銃し遙拜したる上聯隊旗を先頭に喇叭の音勇ましく步武整々市內を行軍し市中未曾有の壯觀盛觀を呈せり又平安南道警務部平壤警察署平壤監獄等何れも諸員正裝にて拜賀式を道廳に於て擧げ祝盃を擧げ萬歲を奉唱せり中學校高等女學校高等普通學校女子高等普通學校農學校等の中等學校を初め郡內面小學校私立學校共何れも拜賀式を擧げ御眞影の奉拜勅語捧讀校長の訓告ありたる上退散せり▲天長節と平壤中學校 平壤中學校に於ては同校講堂に於て午前八時より職員生徒一同御眞影拜賀式を擧行し午前九時閉式と同時に生徒は職員に引率され平壤練兵場に陸軍觀兵式を見物し午前十時三十分寄宿舍に於て一同祝餠を食し散會せり

萬歲！(天長節の日京城幼稚園にて)

▼大夜會=長春= 卅一日午後六時長春領事館に於て領事招宴の夜會ありて來會者二百餘名立食の饗應あり畢つて數番の餘興の後散會の時は十時盛會なりき尙當日は近來稀なる佳辰日和天長節の御壽齡榮ゆらん午前九時より當地小學校に於て拜賀式を行ふ在鄕軍人會は會長の勅語捧讀あり畢つて諸訓示の傳達講話あり午前十一時より領事館に於て日本官民及び露支官民の拜賀式あり就れも盛大なり(特電)

▼賑ふ市中=大邱= 各官廳に於ては午前九時參集道廳に於て御眞影を奉拜し後自廳舍に引取りて祝盃を擧げ各學校にても型の如く擧式あり一般の祝賀會又は各種催しは時節柄取止めとなり極寂寥の裡に各自宅に於て奉祝したり

▼提灯行列=清津= 清津にては十月卅一日小學校に於て官民の天長節祝賀會を開き夜間提灯行列等の催しありて頗る盛會なりき(特電)

▼大觀兵式=羅南= 羅南にては十月卅一日天長節祝日に就き盛大なる觀兵式を擧行せり(特電)

◎淨瑠璃と長唄會 鶴澤小庄及び同三太は結婚披露會を一日午後六時より千代本樓上に於て開催すべく席上天狗連の淨瑠璃、檢番藝妓の長唄等ある由

◎やまと新築移轉 大和町に新築中なりし料亭やまとは此程完成し愈々卅日より同所に移轉せり

□天長節の本町通 店飾りに現はれたる奉祝の趣向いろ〳〵

國旗と高張提灯と幔幕と電燈で飾られた天長節の本町通りは朝から夜まで肩摩轂擊の賑はひで各商店の店飾りもなか〳〵に趣向を凝らしたものであつた、先づ本町一丁目の北內紙商店では金屏風に『聖壽萬歲』の額を掲げ下には菊の活花と乃木大將の像を置いたものが頗る上品に見られた◇增居呉服店は『謹んで休業』とした表戶の側に陳列棚一面を異物の菊畑としそれに四阿屋とコートを携げた美人を配したのが呼物であつた◇二丁目では岸田足袋店が金屏風に君が代と記した額を掲げ下に盆石の岩とされ石を置いたのが非常に立派であつた◇夏川小間物屋では可愛らしい人形の少女が丸髷のお母樣からリボンを結んで貰ふ家庭を作つたもの◇お隣の荒木藥店では飛行機に藥瓶の兵隊さんが珍趣向であつた◇三中井呉服店は等身大の紳士と奥樣を見せて床には古い佛像もあつた◇大阪屋書店は黑い背景に電氣で提灯行列と燈火のあがつた光景を見せる趣向、辻屋はショールをならべて三瓶酒をかざつて居た◇佐藤酒屋は盛花に酒を飾り新築の三越は生活と大きな花環に國旗を交叉したのが立派な意匠であつた◇また田中時計店は御紋章菊の『皇國の譽』を懸崖に培り頗る立派な出來榮ゑを見せた◇日の丸小間物屋は鶴龜に松菊屋は櫛とリボンの鳳凰の美しさまた增田家具屋は高尙な茶の御の活花一つを見せた◇また龜屋は大培りの菊花數鉢、ロシヤ物產の靑木商店はロシヤ更紗で二見ケ浦に旭日の景色、京城電氣會社は晝をあざむく電飾に左右兩つの菊花壇を見せた◇つるや商店は菊の造花で花壇を作り町田新聞店は顯微鏡で大砲を作つた◇次に靑々園茶舖は梓の枝の活花に溢いところを見せ伊藤寫眞屋も君ケ代の樂譜に菊花を飾つた高尙な趣向◇また北村帽子店の松の活花に山口呉服店の天の岩戶、井上履物店の傘の大砲、小林文具店の杜松の鉢も立派であつた◇猶ほ三越の洋畫展覽會と二丁目の盆栽陳列會も澤山な人足を惹いて居た

◎黄州農產品評會

黄海道黄州鳳山瑞興の三郡は農事改良の趣旨に基き三郡聯合して農事改良組合を設け五箇年目に一回物產品評會を催すこととした而して當年は第一回を黄州郡に於て催すことに決定し已に聯合各郡は數箇月以前より之れが準備に著手し黄州郡內には未曾有の盛事として會場の設備餘興の計畫參觀人の宿舍等に最善の注意を拂ひ愈々一日より數萬の客を黄州城內に迎へ大々的の活動振りを發揮せんとしてゐる我平壤支局は特に記者を派遣し品評會の狀況黄州の情勢を廣く讀者に報道し以て本品評會の開會を祝するのである

■黄州郡治の梗槪

黄州郡は黄海道の東北に位し平安南道中和郡に接してゐる廣袤東西九里南北八里行政區劃は十三面百十八里戶數內地人四百四十三戶人口一千二百七十四人朝鮮人戶數一萬六千三百三十八人口七萬六千八百八十七人外に若干の支那人を有す居住民中黄州城內及び兼二浦の若干數を除けば盡く農事經營者又は農民にして其種々たる黄州平野は又京城沿線中他に類を見ざるところである而して黄州郡に於ける耕地面積は二萬七千四百四十四町步にして重要物產として列擧すべきものは卽ち粳米糯米大麥小麥大豆小豆粟等にして作付反別より云へば粟一萬二千八百五十六町步を最とし大豆の五千四百六十町步米の三千七百五十四町步小麥の三千七百十七町步にして大正四年收穫高を價格に換算すれば百六十一萬七千七百圓なりと云ふ實に郡廣袤の上より打算して黄州農民の生產力又尠少ではない殊に黄州郡內に於ける內地人農事經營者は同地方一帶の果樹栽培に適應せるを看手し已に早きは十年以前よりこれが計畫實行に從事し相當の成績を擧げてゐる每年黄州產苹果梨等の露國地方に輸出せられ名聲を博しつゝある實に黄州居住民の努力奮鬪の結果である現に當年の如き南鮮の各地虎疫の侵害に會し不幸にして輸移出禁止の非厄に會ひしが黄州苹果は已に百三十萬個を輸出してゐる將來黄州は普通農業の側副業園藝家の益々增加し黄州は此等の收穫に依りて又經濟上の發展を爲すべきは信じて疑はぬ次第である

■黄州河上月波樓

黄州郡廳は郡內官安面黄岡里にある黄岡里は普通黄州城內と云つてゐる京義線黄州驛の東一里の地にある黄州城址は高麗の世宗二年に造られたもので今を去る一千年前の遺物なりと傳へられてゐる今尙東に德月山の翠樹を負ひ西南黄州河の清流を控へてゐる德月山の中腹黄州河上の斷崖に月波樓と云ふ茶亭あり規模大ならずと雖も建築の堅牢然も典雅古色燦然として四邊の風景と良く調和し恰も繪の如く見ゆ此處に登りて回顧すれば黄州鳳山瑞興の平野實に廣漠千里を蓋ふ黄海の頷を一眸の下に集めたるの心地す

■黄州の中心人物

黄州城內に於ける內地人戶數は百六十八戶人口五百三十八人朝鮮人戶數一千六百五十六戶人口七千百六十八人として普通商業を爲せる者多き樣なるも主として農業の副業とするものゝ如し城內に於ける官衙として郡廳警察署郵便局である尙公共團體として學校組合金融組合消防組合衛生組合果樹組合あり現任郡守は金其大氏警察署長は岩崎信平氏郵便局長山田武一氏にして學校組合管理者は穗阪秀一金融組合理事森井武次衛生組合長森口肇吉消防組長上野長吾果樹組合長西田源吉氏等であるが此等の諸氏又他の地方有志と謀りて公共の爲に盡瘁し平和の裡に健質なる發達を遂げつゝあり殊に郡守金其大氏は郡是として勸業殖產と勤儉力行を以て信條と爲し管下各面に對し勸業殖產の要素として普通農事の改良畜產家禽の改良蠶業の奬勵果樹栽培の奬勵造林植樹の奬勵を爲し尙勤儉力行の要素として郡內惡風の矯正勤儉貯蓄の勵行を勸奬しつゝあるが幸に郡治の上に良好なる成績を擧げつゝあり已に年來奬勵實行し來りたりと云へば今回の品評會に於て更に其成績の一般を窺ひ知ることが出來るであらう

黄州月波樓の秋色

■黄州在鄕軍人會

以上述べたる外更に紹介すべきは黄州在鄕軍人會なりとす黄州には別に地方青年の團體としての組織なきも在鄕軍人會は果樹組合長として在鄕軍人を統督し稱來鍬を把りて耕作に從事し兵に在りては良兵たれ鄕に在りては良民たれの主義を實行してゐる蓋し又他に多く見ざるの類例である

◎品評會の盛況

豫報黄州に於ける黄州鳳山瑞興三郡聯合重要物產品評會は愈々今一日より開催せらるゝこととなりしが聯合各郡の出品物は全部三十日まで到着し舊守備隊跡なる會場に陳列せられたり一日は午前十時より開會式を擧ぐる筈にて黄州城內は綠門國旗球燈幔幕の壯觀裡に更に劍光帽影參差たるの盛況を呈すべく期待せらる當會期中附帶事業として會場に於て改良農機蠶繭精米の實況を見せしめ尙總督府技師の臨場を請うて農談會を催し(但時日未定)十一月六日には畜牛品評會を催し更に公立普通學校に於て三郡聯合公立學校の學藝品展覽會を催すべく尙協贊會の事業として一般觀覽者の便宜を圖り左の餘興を催し大々的に觀覽者の集中に力むべしと

一活動寫眞會(會期中每夜)二朝鮮舞樂(會期中每日)三妓生舞踏(會期中每日)四煙火(會期中每日)五角力(同數)(十一月二日同三日)六提灯行列(十一月三日)七自轉車競爭(十一月四日)八假裝行列(十一月五日)九素人義太夫、素人浪花節(十一月七日八日)十武術大會(十一月九日十日)

◎協贊會役員

品評會開期中左記諸氏は協贊會役員として餘興其他來賓の接待に從事すべし

吉尾金次郎、森方正、飯島幸平、井內九郎八、安藤一吉、志賀恒彥、中井作太郎、岩崎信平、三宅靜次郎、上野長吾、荒內直佐治、大野助吉、山口松之助、森口肇吉、河村初次郎、相本五郎吉、岩田昇七、小林靜、五十嵐文四郎、片岡七重郎、石井安次郎、穗阪秀一、後藤榮三郎、鷹瀨照一、森井武次、趙孫鉉、鄭京樺、朱昌鉉、金錫璞、徐延模、李宗熙、以上三十四名

◎宿舍及汽車賃

黄州品評會の爲鐵道は特に往復割引を爲す由なるのみならず協贊會に於て特に人力車乘合馬車の賃金割引を爲さしめ特に旅館、飲食店等に對して衞生上に注意し飲食及び宿泊所等をも割引せしむべく尙其筋よりも同樣の注意ありたるのみならず黄州に於ける當業者も土地發展の爲め極めて安價に叮嚀に勉強すべしと

◎品評會觀覽者申込

聯合各郡は目下割を定め面長引率の下に觀覽する由にて已に一萬二千人以上の申込ありと云ふ尙各地方の學校職員生徒は修學旅行を兼ね多數見學に來るべき見込にて郡廳及び協贊會に於てもこれ等の準備に忙殺されて居れり

●普通學校の手工教授

黄州に於ける教育上特に重要視すべきは普通學校の手工教育なりとす同校の手工教員は曾て平安北道平安南道の教育會開催せる講習會に於て手工並に同教授法の講師となり一般教育界に知られ居れるが黄州普通學校に於ては特に同地生產の杞柳を以てバスケット果實籠紙屑籠魚籃洗濯籠等實用向の手工教授を爲し今日に於ては生徒の技術其巧妙の域に達し同地の產物として認識せらるゝに至れり之れが爲めに黄海道廳は本年七月より十一月までの經費として四百九十四圓を計上したるが普通學校生徒の外特に受講生として十五名の生徒を教養せり將來黄州の產物として市場に現出するに至らん

商況

東京株式特電

(前場寄付 / 大引 — 數字不鮮明)

東京株式 日本郵船 京城電氣 同新 東鐵 東株 同新 東株第一 東新第二

債券現物特電(前日との比較)

日出來値段(前日との比較) 東拓 朝鮮銀行 京城電氣 南滿鐵道 一八八・〇〇

公債直取引(前日との比較)

五分利 同特別 同第二 同甲 九九・七〇 九九・八〇 九八・五〇 …

深川在米特電

一日現在高 朝鮮米 … 內地米 … 一三・六六四 一三・三五七 一〇・八四四

東京期米特電

一日前場 寄付 高値 安値 止め 一月限 六・四八 六・五四 六・五一 六・五九

大阪株式特電

阪株 同新 東洋紡績 大阪商船 日本郵船 大阪電燈 京阪電鐵 南海鐵道 宇治川水電 神戶電氣 京都電燈 和歌山 同上 台灣製糖 鐘淵紡績 …

大阪期米特電

下關期米特電

一日前場 寄付 高値 安値 止め 當限 先限 一五・二七 一五・六七 一六・一四 め止

雜報

◎鐵價は不振也 用期に在る鐵材の商談頓に衰へて不活況に陷りたるは八九兩月に於けるのみならず向後は注文品相應に入荷する見込あるを以て差當り敢て買急ぐべき必要もなきが爲めにあるもの如し而して釘類を始め丸棒の如きは內地製品增加し來りたれば人氣を挫く事最も甚だしく引續き漸落步調なり併し薄板及生子板の兩種のみは幾に寧ろ不振の爲外國への注文を手控へたる結果遂に品薄となりたれば他品の不況に拘らず昂騰を重ね居れり而も米國にては新規注文を引受けざるに加へて內地にては板類の製作は寧ろ顧みられざる有樣なるを以て或は今一段の高値を保し難き成行なり

◎和紙市況底強し 和紙は漸次新年に接近せると一般物價の騰貴とにより稍々活況を呈せるも農繁と天候不良の爲生產減退を懸念し品不足を唱へられつゝあり從つて愈々買氣の喚起せられたる曉は或は突飛の高値を示さんも知るべからざる成行にて該品は强含みの商情なり

◎鍋釜類品不足 鍋釜類は鐵價高の影響を受け本年に入り各種製品は約四割內外の暴騰を呈せしに拘らず鮮人向鍋釜類の如き非常の好賣行きを示しつゝありし京仁間移入せられし本品類は今日迄にて前年の約二倍の數額に達せるも地方筋の注文多き爲め昨今尙品不足を惑

◎小賣白米一錢安 小賣白米は三十一日某店より突格劇安の賣出しありしを動機とし今日に於ては之と對抗上市中小賣店の大部分は上白十四錢次白十三錢五厘に值を改め一錢方の値下を行ひ一方正米は別項の如く高値を續けたれど精白卸値は依然十四圓二十錢を維持し而かも精米所は各自現價の不採算を喞ち居れるに拘はらず卸値より小賣値段の方下値を示す象を呈するに至りし之れ畢竟一小賣店の自家商略上敢て安賣を爲さし結果に過ぎざるも他の一般小賣店も由手傍に追從しつゝあるも常軌を脫したる遣り方けに結局同業間の一問題を惹起すべき模樣なり

◎染料は落付 昨今荷動き一段落とて市況は鈍狀落付模樣なるが染色紅等の品薄物は依然高値を持續

仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 大五仲買店 電話三〇九番長九一二番

◎新明太魚出廻る 明太魚は端境季に當り古品益々拂底にして氣配も頗る氣丈なり新物は江原道早場の物弗々出廻り初め當地へも既に數個の入荷あり出廻り期も前年に比し多少早き感あり出來値は最近著の物にて六十四圓點黑百二十五圓處にて良品は品切れに瀕し居れ手堅ンゲ一百三十五圓以上の見當は一層愈々皆無の模樣なり

◎鹽鰤は高値不賣 鹽鰤は値高の爲め其後入荷途切れとなり此處各自の殘品手持のみに過ぎず賣行きは一向捗々しからずと雖も相場は內地高に連れ十二貫入一俵五圓六十錢を唱へられ居れり目下尙平安道方面よりは弗々商談あり

◎二十五圓處

◎砂糖は依然強し 砂糖は其後依然強氣配にてセーの十二圓五十六錢を唱へられ居れるが未だ賣行き不振の折柄とて市況は極めて活氣乏しきものあり今後の成行きに付ては殆ど氣迷ひ居れるか有力筋中既に見込み買附を行ひたりといへり尙下關よりは同地乘りの十一圓十五錢を報じ居れり

仁川米豆取引所仲買人 利仲買店 電話長九〇五番 電信略號

◎蜜柑廻著す 前報の和蜜柑は荷主よりの初荷は全部到著し紀州產は一梱八十錢處に出來溫州物は荷主よりの指値高かりし爲め商談運ばず目下問屋より荷主へ交涉中なるが何分初物として聯か入荷の過剩なりし爲め豫期の如き上値に運ばず既に紀州產出來値の振合ひもあり旁々相場として二圓處の見當なり

下關相場

▲朝鮮米は不味 其後六十八匁の外に百袋程の廻著に過ぎず市場は一般に急ぎ物あらず鬼角賈人の高値は望まず入荷を氣構へ居れ市況は面白からず之れが小口の出來値は十五圓二十錢なり ▲大豆は矢張手堅し 共後太田物百五十叺宜川物二百六叺等の廻著に過ぎざるのみならず兎角產地との比較上不引合なる爲め各荷主の賣惜み顯強きに依り矢張市況手堅く賣川物百叺は十四圓十五錢乃至二十錢に後藤產五十叺は十二圓五十錢乃至十一圓丁度等に手合せ行はれたり因に朝鮮產地も昨今弗々出廻り初めたるやの情報あるより追々輸入し來るならん ▲小豆は益々好調 其後北海產百叺上海物百袋朝鮮大納言五十八叺等の廻著に過ぎざるのみならず北海產地の如きは續て人氣高く最近の入電に

仁川期米

▲十一月一日前場 兵庫前寄十五圓九十六錢 大阪天候小雨 前寄當十五圓二十七錢と一昨納會より九錢高 中十五圓九十七錢 新甫五錢高 上鞘の入電二節十四十七錢十五圓四十 九錢と小堅き移り 地堅にて當中十一圓九十五錢と二錢高に寄付五十一錢引錢と一步伸びたるも賣物多く二錢さ押し十二圓〇一錢と上伸し十一圓九十五錢と押 新甫五錢上 鞘の十二圓丁度と發會したるも賈物多く直に〇四錢と押したるが戾りは又賣物多くすたる折柄 大阪六節二保合 十八錢と高移 りに買物關と上伸したるも戾りは依然賣物多く無碍に上伸せず六錢と押し小變動なく擧げ小堅き成行を示して散會

▲一日前場 前場當限十二圓五十錢六錢 中限十一圓九十五錢六錢五錢四錢 先限十二圓 二錢 三錢 均値段 平均九十四錢 平均值段九十四錢

仁川米豆取引所

一日の一月限

前場 平均値段 寄付 十二圓丁 止め 十二圓〆 高値 十二圓〆 安値 十二圓丁 出來高 三萬九千六百石 一節 十二圓〆六錢 二節 十二圓〆二錢 三節 十二圓〆三錢 四節 十二圓〆八錢 五節 十二圓〆六錢

賣買取組高 十一月限 五千三百石 十二月限 六萬五千八百石 三十日後場 前日と比較 一八九〇 一八一九〇 一二〇高 一八七〇高 一二八〇高

京城正米

三十一日 平澤白米 … 水原糯 … 烏山玄白 … 烏致院白 … 天安白米 … 平澤白米 … 烏致院白 … 烏山白米 … 金村籾 … 水原白米 …

南大門の廻穀

慶尙北道の産物の折柄地方高と快つて昨今荷動き一向にて氣配なり見當は上玄十一圓七十錢乃至十二圓三十錢次米十一圓九十錢方を唱へ居れるが賈人の約二十錢より騰強きより目此迄にて賈易からざる模樣なり

仁川現物市場

▲籾入津約千俵 忠南道新籾五圓二十錢より四十錢四圓川新籾五圓四十錢等にて出來氣配は保合 ▲正米入津少なし 米筋の買望みに大阪期米の好況に連れて稍氣配は堅調なり目下見當は上二百三十五圓以上黄百二十五圓處 ▲大豆入津百餘叺 白川七圓七十錢出來氣配は稍高人氣 ▲小麥入津なし

生魚市場

本日入荷の主なる物は鎭山鯖小鯛仁川鯛元山比良目等にして廻著總數も可成りあり市場は天長祝日立太子式前後に於ける大宴小宴の催ふし少なからざる爲め大に活氣立ち居れり タイ一八、サワラ一五、ヒラス一四、ヤヅ一〇、ヒラメ四、カレ六、ハニ五、アナゴ五、サバ七、アジ七、モエビ六、ニベ八、サヨリ六、タコ八サゴシ一四

仁川米豆取引所仲買人 日仲買店 支配人 土居 勝 電話二八二番 長二八三番

▲(イ)の商內 前場同店より賣りたる玉數四千餘石買たる玉數五千餘石に上りたりとの事にて市場の注目を惹いたり

▲(ロ)の商內 前場同店より賣りたる玉數五千餘石買たる玉數六千餘石に上りたりとの事にて市場の注目を惹いたり

▲巨大に買ふ 前場同店より買たる玉數無慮一萬三千餘石に上りたりとの事一面七千餘石の大賣物ありたるも大に市場の注目を惹いたり

▲(リ)能く賣る 前場同店より賣りたる玉數四千餘石に上りたりとの事一面三千餘石の買ありたるも市場の注目を惹いたり

▲(十)能く賣る 前場同店より賣りたる玉數五千餘石に上りたりとの事一面三千餘石の買ありたるも市場の注目を惹いたり

▲(ヘ)能く賣る 今前場同店より賣りたる玉數五千餘石に上りたりとの事他は小口商內であつた

方新甫七千餘石(ヨ)各五千餘石(リ)(ヘ)各四千餘石(十)各二千餘石(イ)各二千餘石等に對し賈方(日)一方三千餘石(へ)各二千餘石(リ)五千餘石(イ)(ロ)各三千餘石等にて

▲前場の手振 重なる商內賣

▲新規割安思ひの買物多 多かりしに係ならんか新規紀も今後如何なる經路を辿るなるか

▲存外買物多く 發會した市場の一時無類乃至下鞘を唱へられたる新甫が目先利喰に支へ〇六錢と更に上伸したるに後かも直に四錢と上伸せるるも新規に乘り替れ

▲新甫發會す 一昨三十日に大阪の四十七錢大上鞘の十二圓丁度と發會したるが爲に買物現はれ

市場雜聞

▲登の開業 大五仲買店は本日の新市發會より新規開業したり

▲發會好勢 新市發會は當中限の讀入深き折柄泉氣乘り薄ならんと豫期せられしに存外大阪の上鞘なりしと期近の活況に人氣引立ち無鞘見當の唱へなりしに大阪の好調を受けて五錢上鞘に發會し掛引は十錢鞘と擴大したる等十二圓より〇九錢と上伸し〇六錢と稍々好勢を示したり人氣は一般商賣意ひの振り合なるも大阪の綱て好況なるより賣方も稍警戒したるも

▲中限より上鞘なる關係 上乘り替商內多く 買方れの小口逃も乘り替したると新規割安買玉の買物漸く多く爲に發會は大商盛を示したり

一週間以內に到着發見通告者には五十錢相當の粗品を呈す(但何君何號に限る)

宮本武藏

第二百三回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

曉雲二天の兩人は白石の手前松並木まで參りますと、向ふの方で人殺し〳〵と云ふ聲が聞ねるから急いで其處へ來て見ると、一人の町人體の男を二人の惡漢が捉へて衣類を引剥うとする樣子 曉『コレ二天、早く彼處へ參つて助けてやんなさい』二『畏りました』と其處へ飛んで來る、是を見ると二人の惡漢が手を放してドシ〳〵逃げて行く、二天は其處へ來て 二『コレ町人何うした』町人『ヘエ有難うございます、私は越中富山の藥商人でございますが、貴上金を持つて今晩は白石へ泊らうと存じ是まで參りました處、今の惡漢に捉つて金も命も取られやうとする處を旦那樣がお出下されたので助かりました有難うございます』二『金子は取られなかつたか、又怪我はせんか』町『ヘエお影樣で怪我もいたしません』と云つて居る處へ曉雲も其處へ來て 曉『何だ二天』二『旅賊でございます』曉『異國では綠林、我邦で山賊山遊と申す、それなれば捨てゝも宜かつたものを、然し逃げればそれで宜しい』町『旦那樣方有難うございますが今晩は白石へ是非お泊りでございませうな』二『如何にも』町『それなれば御一緒にお伴れ下さいまして相宿を願ひたいもので、又此の先一人で參りますと甚麽ことがあるかも知れません、貴下方と一緒に行けば氣丈夫でございます』二『何うせ我々は白石の城下に泊る者であるから一緒に參るが宜からう』町『ヘエ有難うございます、失禮ながら旦那樣方は白石に馴染の宿屋がございますのか』二『イヤ〳〵我々は始めてゞあるから馴染の旅籠屋は無い』町『私は年中旅をして此の白石にも馴染の旅籠屋がございます、常陸屋重兵衛といふのが泊りつけでございますから此の家に御案内をいたしませう』二『左樣か、然らば其常陸屋方へ案内を致してくれろ』町人は先に立て白石の城下に入つて參りました恰度中央程に常陸屋重兵衛と行燈が出て居ります泊り客も澤山あつたが草鞋脚袢なぞが其處に積であつて大きな盥が出て居る、三四人の女共は店先へ出て客を呼び込んで居ります處へ三人入つて來た 町『重兵衛さん年中御厄介になりますが今晩は三人で』女『毎度有難うございます、お三人樣で居らつしやいまして、それに洗足が出て居りますから御足をお洗ひ下すつて』町『イヤ有難う、さア旦那御足をお洗ひなすつて』二『あゝ左樣か』と茲で三人は案内に從つて二階座敷に通る、茶を持つて來たから茶代なぞを遣りまして 町『姐さん湯が空いたら沙汰をしてくんな、湯に入らない內は草鞋が脱けない、それから酒肴を持つて來るのだ』女『畏りました』と階下へ行つたが間もなくお風呂が空きましたからお入りなさいと云ふ、曉雲二天は風呂に入つて其處へ出て來たが、曉『さア町人風呂へ入んなさい』町『左樣でございますかそれなら一風呂入つて參りませう』と衣類を脱ぎかけ懷中より胴卷を取出して 町『エー旦那樣、誠に相濟みませんが此の胴卷には百五十兩入つて居ります、風呂場へ持つて參つて間違ひでもありましてはなりませんから、何うか少々の間お預りなすつて頂きたい』曉『おゝ宜いとも置いて行くが宜しい』二『其處へ置けば我々が見張て居るから大丈夫だ』町『左樣なら是に置いて參ります』と右の胴卷を其處へ置いて風呂場へ參りましたが、軈て濡手拭を提げて歸つて參り 町『イヤ何うも旦那方結好な湯でございまして是で悉皆草臥が脱けました』曉『さア町人預つた胴卷は氣がゝりであるから早く受取て納めなさい』町『とんだ御迷惑を願つて濟みませんでした、然し金子のことでありますから一應改めても宜しうございませうな』曉『それはお前の金子であるから改めるが宜しい』町『ヘエ、それでは改めます』と右の胴卷を披ひでザラ〳〵と出しました

外科一般 皮膚科
泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院 電話四一九番

花柳病 皮膚病 須古醫院
京城府永樂町一商品陳列館通坂ノ下 電話二一〇二番

京城南大門通三丁目(郵便局前横入る)
入院隨意 胃腸病院 電話一六五九番
院主 佐々木杏造

曆

十一月三日九星 舊十月八日甲辰
本命二黑坤破大安

▲二黑 辨別のつかぬ事有る日新事見合東方は吉賭物坤▲三碧 夢なき事有る日新事手控 ▲四綠 提所なき事有る日新事手控 住居の口入等せぬがよし▲五黃 不取締を窺ふする日新事手控 女難火物に用心の事▲六白 凡ろ好況の日 居旅行入門名弘求職建築金談婚禮式等を受る等吉▲七赤 勸込よき日轉居開業入學名弘求職 探訪婚禮合資組合萬皆吉▲八白 賴まれ事義の事有日新事手控 萬事土工は妨なし▲九紫 福運の日轉居旅行名弘求職棟上 出漁祈禱金融萬吉▲一白 行惱となる事有日注意新事手控 萬事樹を植るは吉

演藝案内

黃金館 電話一八五二(階上)一三七(階下)
天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店

初日替り夜番組の 黃金館
▲最近の事實、同情の涙雨の如し
實演 甲武信嶽帝大學生慘死 不破三角標高の塲
▲ユニヴーサキネオラマを應用し實物以上の趣きを感ぜしむ……
▲本編より愈佳境に入る
第二 黑箱 第四、五、六編 六巻上塲
▲天保政談 舊派 實錄 和泉屋治郎吉
薄田半曉、南郷公利、丸山南甫說明

日本活動寫眞株式會社特約 有樂館 本町二丁目 電話二六六

連鎖實演と新寫眞
十一月二日より 有樂館
舊劇 鬼薊梅吉
大活劇 賞金
新派悲劇 合せ鏡
大詰の塲は豁士總出の實演 キネオラマ應用大道具にて御高覽に供候

櫻井町 大正館 電話八二三

明治町 電話二六〇 浪花館

今回の三大寫眞 大正館
●實錄 梅川忠兵衛 二巻
新派悲劇 畫家の妻 四巻
●大活劇 怪病院 三巻

御成町 電話一九一 御成座

流經新藥 レスノリン
月經 流經
發行所 常盤藥院

サック

ろいれき

太田胃散 胃病良藥

明治公債株式會社
◎朝鮮支部 社員募集
京城黃金町 朝鮮支部
釜山幸町 釜山出張所
太田榮町 太田出張所
群山regular 群山出張所
清津敷島町 清津出張所
平壤本町 平壤出張所
元山仲町 元山出張所
大邱三笠町 大邱出張所
木浦大成洞 木浦出張所
咸興大和町 咸興派出所

質
京城黃金町二丁目 永樂町(停留所北入)
堀佐營業所 (電話六三九番)

滋養強壯料

芳香醇良なる本邦産天然葡萄酒を基礎とし完全なる吸收性及同化性を併有せしめたる

○ミツワ規那鐵葡萄酒

擔任技師 藥學士 河西嘉一

香味色佳良滋養力偉大
健胃補血興奮作用卓絶

(現品寫眞圖)

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials by the thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism.

The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.

Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and, moreover, easy to be absorbed and assimilated.

Price ¥ 1.50.

規那、鐵及葡萄酒は各健胃、補血、興奮、强壯等の諸効驗を具ぐるものにして、殊に此の三者を配合して、所謂規那鐵葡萄酒となし、食事に臨んで之を服用せしむれば、三者を容易に且愉快に用ふることを得て、何れも確實に消化吸收せられ、其の効價の愈增大することは既に公知の事實に屬す、雖然、其の製法不當ならんか將又其の品質不良ならんか、之を服用するも啻に無效なるのみならず却て不快なる結果を齎らすことを言を俟たざるなり、然るに本品は歐米に於ける諸種の製品並に最新の學說に就て調査研究を重ね、山梨縣宮崎葡萄酒釀造所監製の天然葡萄酒を基礎とし、人造着色料を用ひず、純良有効なる規那並鐵を特殊の操作を以て配合し、周到なる用意の下に精製せるものなるが故に、容易に變敗する憂なく、規那、鐵及葡萄酒の健胃、補血、興奮、强壯等總ての効力を遺憾なく發揮し、天然の佳香美味を具へ、食慾缺乏、營養不足、慢性の發熱並下痢、貧血、萎黃病、貧血より起る神經性疾患殊に神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、產後並病後の衰弱、一般の虛弱等に際して適用すべき無比の滋養的飲料たると同時に、精神の困憊並身體の疲勞を回復し、元氣横溢精力增進を欲する場合に推奨すべき絕好の家庭必需品なり。

定價 一罎 金壹圓五拾錢

▼如斯人は滋養強壯料○ミツワ規那鐵葡萄酒を適用すべし▲

一、一般に貧血して居る人
一、營養の不足なる人
一、顏の色蒼褪め艶の無い人
一、生來虛弱なる人
一、是と云ふ病は無くても何となく弱く感冒に罹易い人
一、手足が冷えて寢つかれぬ人
一、やうな纖弱い人
一、身體の痩削けて居る人
一、產後や病後の衰弱を早く回復したい人
一、食事の進まぬ人
一、勉强又は勞働して疲れた人
一、精神や筋骨の疲勞を速に回復したい人
一、精力が減り元氣の無い人
一、腺病即ち瘰癧に罹つて居る人
一、肺結核や腸結核其の他結核性の病等にて發熱の永く續いて居る人
一、下痢の永く續いて居る人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、陰痿や遺精など生殖器神經衰弱に悩んで居る人
一、ヒステリー俗に謂ふ血の道に襲はれて居る人
一、ヒポコンデリー俗に謂ふ心氣病に苦んで居る人
一、萎黃病など血液の病に侵されて居る人

▲賣捌―全國到る處の洋酒食料品店。藥舗。雜貨店▼

ミツワ石鹼
ミツワ家庭藥
肝油ドロップス

發賣元
登錄商號 ◎
丸見屋商店
東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
電信略號○ミヤ……振替口座東京七一〇番
營業部電話浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番

代理店
洋酒、食料品、煉乳、賣藥 化粧品、雜貨、直輸出入商
大阪市東區高麗橋貳丁目
松下善四郎
電信略號マツセ 振替口座大阪一六番
電話本局一八五、一八六、八二〇番

京城日報

二日朝刊 (夕刊と合せて八頁)

發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

東歐の形勢

京城日報

東歐羅馬尼、聯合軍に參加してより以來、其戰運りに利あらず、其トランシルヴアニアに進出したる軍隊は、悉く敗退し、却て獨逸、勃牙利、土耳其諸軍をして、深く羅馬尼國内に侵入せしむ。外國電報の傳ふるところを以てすれば、其首都ブカレストの敵手に落つることは遂に避くべからずと云ふ。

今日歐洲大陸諸戰線は、概ね無事なり、乃ちヴエルダン攻撃は、全く獨逸軍の失敗に歸し、今は其進攻を已めて、專ら其陣地を守るに專らなり、西部戰線は、英佛軍の勝利に歸したれども、六月來以來の激戰に、此に一段落を示し、更に其砲彈、軍需品を充實し、兵員を補充するにあらざれば、復た大活躍を試むる能はず。露國戰線は、今や既に冬期に入る、是れより後は氷雪冱寒、其兵を動かす能はず。是れ最近に及びて敵味方共に、新たなる方面を求めて新たなる爭闘を、開始せむとする所以にして、此冬期間の戰爭は、則ち專ら東歐羅巴の地に於て、行はるものと見ざるべからず。

今日東歐羅巴の爭闘の中心二あり其一は羅馬尼戰線にして、此度新たに展開せるものなり。其二はサロニカを中心とする、英、佛、露、伊、塞諸聯合軍の活動なり。前者は過日、羅馬尼が其中立の地位を棄て、突然戰線に加はりたる爲めに現出せる、新戰線にして、眼前羅馬尼を救援し得るものは、只露西亞あるのみ、近く英佛兩軍亦、往いて救ふべきことを辭言するものあれども、現在の戰爭地圖の上より之を見るも、是れ恐くば至難の業たるべし、獨り第二者即ちサロニカを中心とする、聯合軍の活動は、世人の夙に之を見むと欲して、未だ之を見ざる所のものなり今夏以來、聯合軍の多衆、サロニカ及び其附近に集中すること久しと雖も未だ一事の人の耳目を動かすに足るものあらず、希臘政府すら、蒼惶反側自ら決せざる爲體なり。然れども今日の形勢を觀るときは、希臘は事實上、聯合軍の策源地なり。聯合軍は此根據地より出動して、勃牙利を牽有し、獨墺と勃牙利土耳其との聯絡を中斷して、其形を制し、羅馬尼を救援し、[illegible]山國を其舊に復せざるべからず。

世間或は、東歐の事は、枝葉に屬す、敵味方の勝敗を決するの外なしと爲す。然り此大戰役の勝敗は、歐洲中原の大戰線に於て、之を決すべしと雖も、之を決するは、果して何の日にありや、未だ知るべからず。而して東歐諸地は獨墺の給養地なり、此方面を、敵の支配の下に委するは、則ち糧を敵に與ふる所以にして、敵をして、自給自足の計を保たしむるは、決して戰の法を得たるものにあらず。聯合諸國民、今にして發憤、勵精、一舉東歐を席卷するにあらずんば、恐くは戰局、徒らに長引き、歐洲中原大戰線に於ても、味方の不利を醸すとなきを保せず。之れ吾人が、我味方の爲めに、厲言するの已を得ざるものある所以なり。

朝鮮の古城郭(三)

八木奘三郎

(四)歴代城郭の變遷(承前)

(乙)三國時代の城郭(其三)(續)先づ支那城郭の變遷を稱ふるに、前回已に說けるが如く、漢書に、神農の教として石城十仭、湯池百歩云々の語あるも、斯は理想上の例に過ぎずして上代に石城の實現せし證左は有てなし、而して晋の伏琛の三齊略記の文として擧ぐる例を見れば次の如き記事有り。

始皇登二背城山一、築二石城一、入海三十里、射二魚水裏一、色如二血者數里一、於今猶備。

此文甚だ荒誕にして信ず可からずと雖も、萬一石城の類が當時存在せしものとせば、之を著者の時代と見るも已に晋代の石城ありし譯なり、然れども予輩の如く實地研究を主とするものは斯る薄弱の一記事に依て安心すること能はず、唯だ參考として注目し置くに留むるのみ、次に史記の越王世家『方城之外(中略)不足以備秦』との本文に註せし括地志の文を見れば。

故長城、在鄧州内鄕縣東七十五里南入穰縣、北連翼望山、無土之處、累石爲塁固、云々。

とあり、茲に『土なきの處は石を累ねて塁固と爲す』とあるは頗る面白き文にて楚は礎の略にて『イシズヘ』なり、斯く『イシズヘ』を根固めとして上に土壁若くば土手を置けりと思へる例は日本の古代にもあり、去れば括地志に記せる勾踐時代の築城に此風ありしや、將た右は其後の重修に出しものにや不明なれ共、括地志の年代相當に古きに依り、假令此風を春秋戰門時代と認めざるも、三國若くば六朝時代に至て礎石に築石の風を生せしことは確かなりと見て不可なからん、而も右は猶ほ異例なり、今正確なる實例上より按ずるに晋代に磚城、即ち煉瓦城の行はれしことは略ぼ疑なく、而して純然たる石城は築城法の唐に至て磚石混淆の築城に及んで初て世に出でたるが如し已に支那に於ては斯る順序を經過せるにも係はらず、高勾麗が最初より石城を築けりと云へることは甚だ疑ふ可きに似たり、之れ予の世說を輕信せざる所以なり、然れども括地志の文によれば

不耐城、良國内城也、城累レ石爲レ之

とあり、而して括地志の著者は唐の太宗の皇子濮王泰等の撰にして、其書は貞觀年中に成れりと云へば、彼の百濟、高勾麗の兩國が未だ亡びざる以前に在り、去れば他國の實例は別とするも、高勾麗の國内城が當時石築なりしことは略ぼ疑ひなきに似たり。

黄海道の鑛山 七

鶴陽生

濱田鑛山(續)

▲亞鉛鑛床の將來 當山の舊坑は前にも云つた通り單に銀鉛鑛のみを採取した跡であるから之れと共存する亞鉛鑛は總て土石視せられ坑道を開鑿する必要上掘るは掘つたが悉く捨てゝ顧みなかつた。今日では只だ夫れを搔き出す許りだから僅少の經費で以て莫大の儲けがある。此の現況は當山許りでなく泰州其の他の亞鉛產地も同樣だそうであるが當時の開鑿法は極めて幼稚であつた爲め坑道の延長は餘り長くはない。四香坑なども百八十尺許りで行き詰まつてゐる爲め以後は正式に採掘して行かねばならぬ、然し見受ける處其の鑛床は餘程大きく且つ優質の樣だから正式に掘つて行つても收支を償ふて大分の餘りがあるだらう

▲金鑛と溶鑛設備 又た金鑛の方も放棄したとはいへ全然見捨てた譯ではなく徐ろに經營を開始する目的で既に技師長を聘し技師を招いて亞鉛鑛と共に將來の計畫を策してゐる、亞鉛は昨年七千噸許りを賣鑛したが含有の鉛量を控除するのが精鍊に障ることあつて遠からず此處で精錬する事となり吉川技師が主任となつて計畫を進めてゐる。其れから金鑛の方は今日迄の探鑛に依ると先づ百萬分の二から三迄の含金量を示してゐるので之れを高める爲め選鑛を据ゑ付けることに決し、技師長自ら其の任に當つて設備中である。要するに此處は樂山の進取的な經營法と遂つて極めて漸進主義である爲め昨今は甚だ寂寞の感があるが之れ等の計畫が實現された曉には相當の殷賑を來すことであらう

殷栗鐵山

殷栗鐵山は殷栗郡北下及び道里の兩面に跨り、山下の事務所は直ぐ前に金融面を控へてゐる、此山も經營は鎮南浦の富田儀作翁が擔當し、鑛石の運搬は中村組が引き請けてゐる、二百萬坪の鑛區總面積を二大區に劃し、川を距て、西の長連郡に屬した山を長連鑛區と呼び其の他を殷栗鑛區と稱へてゐる、長連鑛區は第一號區で眞先きに採掘を始めた爲め其の操業は既に地平線下に進むで揚水機や吸上げ喞筒を使用し餘程難作業となつてゐるけれども、殷栗鑛區は更に二三號の兩區に分れ、共に今が採掘盛りで地平線下に達する迄には未だ相當の日子がある採掘は總て露天掘であることはいふまでも無いが、此處は載寧の如く鑛床が崩壞して居ないから全山悉く鐵鑛の觀こそなけれ或は高く聳へて斷岩絶壁となり或は低く地上を這ひ蜿蜒長蛇の如き無數の大鑛脈を追うて多數の鑛夫が孜々採掘してゐる狀況は實に雄壯の觀である

□雞林同人會詠草(席上互選)

浮雲の影だに見えぬ大空をなきつゝわたる雁の一つら　坪内孝
わたり鳥一村わたるかげ見えて夕日うするゝうぶすなの森　佐々木信一
蝦夷の山遠く霞みて秋晴の空渡りくる雁の數見ゆ　渡部啓次郎
白雲のむかふす遠の島山をさしてかわたる鳥の一村　丸野翠
まろばさむ人のありとも徒に碎けね石を心ともがな　同 忠孝
石だたみ處々に殘りけり高麗の都のありしとふあと　丸野翠

新刊發行：豫約募集

●新刊十二冊成り學界必須の典籍悉く備はる●

漢籍國字解全書

(申込)十一月卅日限り (送本)十二月より各輯とも毎月壹冊宛 (體裁)菊判布製●毎冊約五百頁乃至八百頁●講述文五號二段組傍訓附 (見本)通知次第送呈す

今次新刊の本書は過去現在の學界に於て最も廣汎の讀者を有する十八史略、正續文章軌範、蒙求を始とし、諸子類の巨擘にして極て難解なる淮南子、戰國策、及び春秋左氏傳の姉妹編たる國語の七大典籍を網羅したり。是等諸書の拔萃抄錄は漢文教科中の主要部分を占め、教員檢定の問題を之れに採るを常とす。流布の和解書にして杜撰ならんか、謬誤轉々して後學を毒すべきは言ふを要せず。故に其正確なる和解書の切要なる、遙に既出諸書の上に在り。是に於て既刊書によりて多大の便益を享けたる讀者は、其續刊を熱望して已まず、本大學亦其緊要を認め、斯學精通の諸大家に懇囑し、營々多年、茲に之を發表す。既刊の諸書が一世を風動し、流布殆ど全國に遍きは公知の事實なり。茲に本書の新刊を機として既刊書を新刷し、前回の豫約に漏れたる希望者に頒たんとす。

▶本書の完備大成を見よ◀

本全書一覽

新刊 第四輯 十二冊 (卽納價金十二圓〇分納價一圓廿錢宛十二回〇送料每冊内地十二錢、支鮮等廿五錢、東京市四錢)

文章軌範(一冊)	松平康國
續文章軌範(一冊)	松平康國
國語(二冊)	桂湖村
淮南子(二冊)	菊池晚香
蒙求(一冊)	桂湖村
戰國策(三冊)	牧野藻洲
十八史略(二冊)	桂湖村

第一輯 十二冊 (卽納價十三圓半〇分納價一圓拾錢宛十二回〇每冊送料第四輯に同じ)

孝經	熊澤蕃山
大學、中庸	中村惕齋
論語、孟子	中村惕齋
易經	眞勢中州
詩經、小學	中村惕齋
書經	大田錦城
近思錄	中村惕齋
老子	山本洞雲
莊子內篇	毛利貞齋
列子	太田玄九
孫子	荻生徂徠
唐詩選	服部南郭
古文前集	榊原篁洲
古文後集	林羅山

第二輯 十三冊 (卽納價十四圓半〇分納價一圓拾錢宛十三回〇每冊送料第四輯に同じ)

春秋左氏傳	加藤正庵
傳習錄	三輪執齋
楚辭	淺見絅齋
管子	菊池晚香
墨子	牧野藻洲
荀子	桂湖村
韓非子	松平康國

第三輯 八冊 (卽納價金九圓〇分納價一圓拾錢宛八回〇送料第四輯に同じ)

禮記	桂湖村
莊子	牧野藻洲
唐宋八家文	松平康國

▶本書は豫約以外に販賣せず◀

●本全書中、先哲の講述に繫るもの廿餘部、現代大家の講述に繫るもの十有四部、全部四十五冊、二萬六千餘頁

東京市牛込區早稻田 振替東京一一二三番 早稻田大學出版部
豫約取次所 各地大書店

婦人畫報

十一月號

一癖ある婦人……文學博士 三宅雄次郎
縁談雜話……農法學博士 新渡戸稻造
○春日局逸傳……泳堀又次郎 ○家庭用の燃料……白澤林學博士
我が上流婦人に望む……伯爵 柳澤保惠
○擬る姿……小波 ○七五三のお料理……細井まき子
西洋風味の眞奧……志賀重昂
○悪かせた話の役立つ時……久留島武彦 ○一筋道の思出……服部まん子
年頭の令孃に著せて見たい着物……鏑木清方、池田蕉園、栗原玉葉
口繪 庭の錦(二頁大美人畫)……河崎蘭香筆
附錄 □皇太子殿下□淳宮高松兩殿下□久邇宮妃殿下□山階宮妃同姫宮兩殿下□新大臣の家庭□名家夫人の養禽□京都名所嵐山めぐり□七五三御料理□文展出品諸伯の製作□名學ある兩女學士の祝賀會と新進女醫□一衣裳の著方のいろいろ□住友男爵夫人と津田夫人□長井博士令孃の新婚□十數名家の令孃鑑□高木男爵一家の遊戲□流行の髮形□乘馬婦人□餘公爵の二令息三令孃□歸國に於ける日本赤十字救護班其他十數葉
子供へ土產物の注意……東洋幼稚園長 岸邊福雄
○初冬の平常著と外出著……ゑんな ○英文會話……岡田高等教諭
佛蘭西にある芝居……島崎藤村
○女子歌がたり……佐々木文學博士 ○初冬の和洋料理……吉村里子
家庭衛生設備……醫學士 佐々木秀一
○寒菊の培養法……千葉晚香 ○新らしい化粧の仕方……マリー、ルウホズ
ネルの着物のふみ子……長谷川時雨
長篇小說「お夏文代」(毎號連載佳境に入る)……菊池幽芳作 清方挿畫

定價三十錢 送料二錢五厘 東京京橋外 ○ 東京社 振替東京四九〇〇番 全國各書店にあり

萬年毛筆 タイヨー

最に五千本を限り特價賣出しの本品は非常の好評にて愈々全部を賣盡したれば各位の御厚情に酬ゆる爲製造元と交涉し引續き特價六十四錢を以て販賣可仕候間相變らず御用命ありたし ■京城日報社代理部 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番

東洋一 流行の魁 内田式ストロンク靴は堅牢優美、價格一割安、保證す 御旅行用 靴と鞄 ◎定價表郵券二錢 東京市芝區宇田伏見町角 内田靴鞄製造問屋 電話芝一五五一、二八七七

銀商標 蚊帳 製綿 眞綿 御 蝸牛印製棉蚊帳發賣元 大阪市東區安土町三丁目 山本佐七商行

長編講談

第一編 木下藤吉郎 (揭名舍桃李講演)
第二編 赤穗義士
第三編 岩見武勇傳 笹野名槍傳 (揭名舍桃李講演)
第四編 伊達騷動
第五編 怪談牡丹燈籠 佐賀の夜櫻
第六編 天一坊 村井長庵
第七編 佐倉宗五郎 文殊九助
第八編 由井正雪
第九編 大久保彦左衛門
第十編 紀伊國屋文左衛門 錢屋五兵衛
第十一編 荒木又右衛門 澁川伴五郎
第十二編 幡隨院長兵衛 (揭名舍桃李講演)
第十三編 羽柴筑前守 (揭名舍桃李講演) 最新刊

續刊 十四編■相馬誠忠錄 十五編■天下茶屋 十六編■加藤清正

東京市本町 博文館

▲保合…… ▲現物界……

十二月限 五萬二千八百石 十二月限 六萬千八百五十石 一月限 九千七百石

□天長節祝日御儀式

十月三十一日の天長節祝日は朝來秋晃麗かに晴れ渡り瑞氣靉靆大内山を望め祥雲氤氳千代田城頭に揺蕩す此の日午前九時前後より拜賀參賀の文武諸官は燦爛たる禮裝姿美なしく二重橋正門、坂下門、乾門等より車馬を連ねて續々參内　聖上陛下には大元帥の御正裝を召され大勳位章其他幾多の勳章を御佩用波多野宮相、德川侍從長、内山侍從武官長以下の扈從にて午前十一時より各國公使の拜賀を受けさせられ午後二時より更に鳳凰の間に出御大勳位親任官、宮内勅任官其他の拜賀を受けさせられ正午大奥の間に於て皇后陛下御同列にて伏見元帥宮閑院大將宮殿下を始め各宮妃殿下を召され御内宴の御催しありたり(東京特電延著)

□勅使發遣の御儀

一日午後三時宮中鳳凰の間に於て立太子式勅使發遣の御儀を行はせらる此の日　天皇陛下には衣冠束帶德川侍從次長日根野侍從内山侍從武官長等を隨へさせられ鳳凰の間に參列の波多野宮相、戸田式部長官、九條掌典長、東園同次長、勅使河鰭久我兩掌典より最敬禮を受けさせられ同御殿内に陳列せる左の御幣物の御點檢あり

御錦 二卷　五色絹 十疋　白絹 二疋　御麻 二疋　木綿 二疋

兩勅使は九條掌典長を經て發遣の御詑を拜し更に波多野宮相より御祭文を拜受し　陛下入御後御祭文並に御幣物(唐櫃に收む)を奉侍して退下直に河鰭勅使は隨員を隨へ伊勢神宮に又久我勅使は隨員を隨へ大和畝傍山陵及び伏見桃山なる明治天皇山陵に參向せり(東京特電)

○天長節祝日夜會宴

天長節祝日奉祝大夜會は例年の如く十月三十一日午後九時より霞ケ關なる外相官邸に於て開催さる、會場の内外は煌々たる電燈の光り華かに甍を欺かん許り、車寄せには燕尾服に綬を掛け胸間に燦たる勳章を輝かせたる主人公寺内兼任外相並びに同夫人代理として當夜の宴に花を飾る裾模樣白襟紋付の幣原外務次官夫人は相並びて愛嬌を湛へ乍ら二千五百餘名の貴顯淑女を迎待す態て一同廣間に通れば唯見る幾千幾萬とも數知れぬイルミネーションは銀色金色相映じて光彩陸離宛然龍宮城を現出したらんやうなる裡を華美を競ふ夜會服の艶麗なる外國夫人、淑やかなる紋服姿の貴婦人、瀟洒たる燕尾服の貴顯紳士さては勳章の輝きに過ぎにし武勳を誇り顔なる軍人など行き交ふ樣此の世からなる歡樂境を偲ばしめたり唯本年は畏くも多嘉王殿下の御臨場なく又歐洲戰爭を遠慮して舞踏の催しなき爲め何となく物足らぬ心地せられたり斯くて十時過ぐる頃大食堂開かれ　兩陛下の萬歲を三唱し盛會裡に宴を撤せるは鷄鳴暁を告ぐる頃なりき(東京特電=延著)

○副總統は馮國璋

三十日の選擧會にて終に當選

副總統選擧會は十月三十日午前九時より開會されたるが第一回の選擧にて總數七百二十四票中馮國璋四百十七票陸榮廷百七十三票唐繼堯二十八票岑春煊十九票徐世昌、段祺瑞、蔡鍔、梁啓超等各々多少の得票あり次で第二回の選擧に於ては總數七百三十三票中馮國璋五百二十八票陸榮廷百八十票黄興六票岑春煊、蔡鍔、唐繼堯等各々多少の得票ありたるが何れも法定投票數に達せざりし爲め最後に(三十日)最高點者たる馮國璋と陸榮廷との決戰投票を爲したる結果總數七百二十四票中馮國璋五百二十票を得て遂に當選し選擧會は午後六時終了せり開會中は各自非常に眞面目の態度を持し議場靜肅なりき殊に袁世凱氏總統選擧當時の如き武人の干渉もなく至つて平穩裡に終了せり倚馮國璋に投票せるは憲法研究會憲法協議會憲法討論會の全部にて陸榮廷への投票者は舊同盟會新共和黨及び谷鍾秀の一派なり倚副總統に當選せる馮國璋に對しては政府は近く特使を派して副總統の印綬を與ふる筈(北京特電)

……嗣軍入な……隊員は十月三十日平壤陸軍射擊場に於て短銃實彈射擊を行ひたり▲篠田一部長　安南道篠田一部長は……

○獨元帥英佛軍を評す

伯林來電=ヒンデンブルグ元帥は三十日開戰以來始めて皇居を訪ひカイゼル及び皇后は元帥夫妻及び令孃を食堂に招けり其の席上元帥は英佛軍を批評して曰く佛軍は勇敢なれども彼等は其の勇敢なるが爲めに却つて唯無益に生命を失ひつゝあり、英軍に強要されて大攻擊を試むるが如き事あらば佛國は最早餘すの陸軍無く又國民的勢力をも消耗し盡すに至るべし又英軍には參謀將校に優秀なる者なしと(紐育電報)

○羅國王居政府の移轉

チューリッヒ來電=情報に依れば羅馬尼王はヤシーに王居を遷し政府も亦移轉中なりと(紐育電報)

○首相と日支親善策

寺内首相は日支親善の根本策として兩國に伏在する諸問題を一掃する方策を講ずると共に今後兩國の感情を融和すべく期しつゝあり一日午前十時二十分上原參謀總長大島陸相を招致し鼎坐密議する所あり上原總長は十一時辭去し陸相は十一時三十分退去したるが其の間田遞相、眞鍋前陸軍省參政官の來訪を受けたり(東京特電)

○地方長官會議

地方長官會議第三日は一日午前十時より内務省に於て開會仲小路農相以下各局長出席農相より一場の演說あり終つて臨時中の田遞相より遞信事務に就き一場の希望演說あり正午一先づ休憩午後一時より再會松室法相より一場の訓示演說ありて散會せり(東京特電)

□海軍へ優詔

天皇陛下には三十日海軍將官會議に出席せる者一同を召され御陪食を仰せ付けられたる際特に加藤海相を御前に召され親しく左の優渥なる勅語を承はりたり(東京特電延著)

勅語

朕夙ニ親シク艦隊ヲ閲シテ茲ニ重ネテ海軍各部ノ狀況ヲ審カニシ深ク軍容ノ整齊シテ戰備ノ充足セルヲ嘉フ爾將卒夫レ倍々奮勵シテ宇内ノ進運ニ伴ハン事ヲ期セヨ

○大演習幹部

大正五年度特別大演習幹部左の如く決定御裁可あらせらる(東京特電)

北軍

軍司令官中將　井口省吾
軍參謀長少將　西川虎次郎
第五師團長中將　小原傳
同參謀長步兵大佐　吉江石之助
第十二師團長中將　柴五郎
同參謀長大佐　岡田重久

南軍

軍司令官大將　大迫尚道
[illegible]少將　鈴木莊六
[illegible]師團長中將　明石元二郎
同參謀長大佐　市瀨敬三郎
第十八師團長中將　柴勝三郎
同參謀長大佐　東正彥

○貿易出超著し

大藏省の調査に係る十月下旬の外國貿易は輸出に於て絹、メリヤス、肌衣等の減少せるに拘はらず銅、綿絲、絹絲等の增加ありたる爲め前旬に比し三割八分を增加し四千五百六十萬六千圓となり輸入は機械類の減少せるに拘はらず棉花、羊毛の增加に依り前旬に比し三割一分を增加して二千三百十一萬圓を示し輸出入差引二千二百三十九萬六千圓の出超を示せり(東京特電)

○內鮮農產品及其加工品の出入狀況(六)

朝鮮農業開發の根本研究

▲麵類　千個飩素麵の內鮮人製造者各地に蔟出し其の產額大に增進したりと雖も同時に需要も大に增加したる爲め輸移入額は減少するに至らず年々五六萬圓三萬五六千圓を上下す其輸移入先は內地六割支那四割也

▲煉瓦　年に依り差異あり其の數量は四萬打以上六萬打其の價額は十二萬圓乃至十八萬圓なり、製造地は北米合衆國八割英國一割餘內地及歐洲諸國濠太剌利は何れも僅少なり、朝鮮に於ては未だ煉瓦の製造を見るに至らざるを以て當分本品の輸移入は免れざる所なる可し

▲鑵詰　鳥獸肉、蔬菜、果實の三品合せて大正二年迄は一箇年八萬打十二萬圓を輸移入せり內主要なるものは箱類の如き蔬菜鑵詰にして四萬打を需要し主として內地より移入す、次は果實鑵詰二萬打乃至三萬打にして英領海峽殖民地の鳳梨鑵詰全體の過半を占め他は內地、北米合衆國より輸移入す、鳥獸肉鑵詰は最少く五千打を出づること多からず其の仕出地は內地主にして全額の三分の二を占め他は北米合衆國より輸入す

▲砂糖　本品の輸移入額大正二年には二千三百萬斤百八十七萬圓に及びたりしが大正四年に於ては稍減じて千六百萬斤百五十五萬圓となれるも鮮人間に使用の風擴布するに伴ひ漸增の傾向を有す、朝鮮に於て甜菜糖業の興起を見ることあらば格別なるも砂糖の輸移入遞增は免れ難き處なる可し、輸移入品の九割は內地精糖にして少部分は瓜哇糖なり

▲製造煙草　明治四十四年に於ては輸移入額六十九萬圓に上りしも大正二年に於て三十九萬圓となり大正四年には更に減じて九萬圓となれり畢竟上章に說述したる如く朝鮮に於ける煙草製造業勃興の結果に外ならず

▲綿糸　輸移入數量を見るに四十四年及び元年は各六百萬斤二年は四百四十萬斤三年は五百八十萬斤四年には八百萬斤を越へ大勢に於て需要增進の趨勢を示せり、綿絲の相場は年に依り騰落甚しきを以て輸移入價額は必ずしも數量に應じて上下せず四十四年の二百二十萬圓より大正元年の二百四十萬圓、二年二百萬圓、三年二百二十萬圓、四年二百六十萬圓となれり、朝鮮に於て紡績事業の興起を見る迄は本品の輸移入增加は免れざる可し、仕出地は內地にして唯年額二萬圓に滿たざるカタン糸の約八割を英國より輸入するのみ

▲繩叺及莚　輸移入額明治四十四年及大正元年には七十萬圓同二年には九十萬圓、同三四年は共に百十萬圓にして殆ど未曾有の盛況を見たるに拘らず前年に比し本品の移入增加を見ざりしは朝鮮に於ける其の生產の發達を觀るべきものあるが爲めなり、農家に於ける繩叺莚の製造副業は既に其の基礎成れるに依り本品の輸入防遏を見るは遠きにあらざる可し

▲疊表　明治四十四年の九萬七千圓より遞增して大正四年には十四萬五千圓に達せり價額の關係上莞草莚を以て之に充つること難く又た藺草の栽培は朝鮮に於て有利なりと認む可からざるを以て內地人の增加と共に本品の移入增加は免れざる可し

……八面積一〇〇〇步收入五圓五十……鐵田面積三五町二千二十六步收益五……〇七圓六七錢面積八町九五……林面積前年度に比し幾分の增加を示せるは面積絶林及び共同墓地の增加……の三校林實地調查を十月三十日府吏員各校職員學校組合會議員等十數氏……

人事消息

▲久米作藏氏(松田商會釜山支店長)同上
▲村田雷一郎氏(鐵務課長)一日夜歸任
▲大井靜雄氏(辯護士)南山町東亞煙草會社員中村氏方に滯在中

○原田社長東上

朝鮮社長原田金之祐氏は一日午前八時三十分南大門驛發列車にて東上の途に就けり

◆今昔の感に不堪候

小川平吉氏來信

大邱滯在中の小川氏より阿部社長へ宛て書信にて高等普通學校參觀の感想を寄せ來りたるが左の如し

拜啓過日は久々にて拜顏仕候處混雜中緩々御話も出來不申殘念に存候扨其節御話の高等普通學校參觀の儀は十數年來の關係上是非共實行仕度存居候處御承知通りの多忙にて寸暇無之遂に見合せて翌朝出立仕候然る處幸に昨廿七日小閑を得て當地高等普通學校を訪問致候處先日老台より御話有之候所と大差無之大に愉快を感候、特に右學校の校舍は假校舍にて鄕飯明倫堂の跡に有之在來の私立學校を受け繼ぎて其學生を二年級に編入致候趣にて其私立學校なるものは元日本人膝付氏が經營せる達城學校の後身なる事を知るに及びて今昔の感に不堪候右達城學校は東亞同文會の補助により大邱に於て日露戰爭前より日本語を教授せし學校に有之明治三十七年中小生自身全市鮮人充滿の間に見舞ひ候事有之其後身たる私黌が總督府の學校となりて今日の盛大を見るは實に人生の快事に有之候是も老台御注意の結果と探く感謝仕候不取敢御斷旁々右御報道迄如此御座候　草々

十月廿八日夜八時法廷より歸宿して　小川平吉

阿部老台侍史

○高瀨梅吉氏歸京

東上中なりし朝鮮銀行調查局長高瀨梅吉氏は一日午前南大門驛著歸京せり

■南言北語■

黃興が久しく上海で病氣であつた事は既に報じて置いたが愈々死去した相な▲英雄の末路は洵に同情に堪へない蔡鍔亦福岡に病んで病魔却々に去らぬと云ふ▲英雄眼を轉じ東流を遂ふ百戰の工夫士一杯の蒿麥は茫々として花雪に似たり牧童笛を吹て高郎に上ると吟じたくなるね▲獨帝は能く戰線に出かけて士氣を鼓舞して居る▲ソンム地方などでは幕僚と共に彈丸雨飛の間に立て親しく三軍を叱咤した▲聯合軍の最前線の展望哨から望遠鏡で詳細に見へたとの事而も其の樣な事は少しも珍らしくないと云ふ▲其れのみならず國內を旅行して列車中から車窓演說をやつて頗る士氣を鼓舞して居る相な▲獨帝が其程一生懸命になるのに比して軍隊はズーッと弱くなつた事は事實だ▲獨帝が愈々鐵砲擔いで戰線に飛び込む時代には最うヨボ〳〵の兵隊許りになるのだらうよ▲オールドミッスとオールドバチヤーと來ては何處へ行つてもねれ▲目賀田種太郎男は餘程若い時分から扇子を備忘錄に使ふ習慣をつけて居る相な▲扇子は秩序正しく文庫の中に藏されて其數四十幾本となつて居る▲何か重大事件で忘れた事があると客と談話中でも小間使を呼んで何年の扇子を持て來い▲而して其れを開いて『當時の我輩の記錄に依れば……』と改めて辯じ立てる▲扇子の中には表裏とも眞黑に細々と書いてあるのもあるとの事▲扇子とは餘程考へた面白い思ひつきだ

□福岡より　十月二十九日　大塊

七週年忌も相濟み一昨日出福昨夕例の三笑雅會を開き十二時まで駄句り申候

夜長かな夢に高麗路の友を見て

○獨逸議會の騷擾

原因はアルサス州民捕縛問題

獨逸議會に於てアルサス州の選出議員アルサス州民二千名が豫防手段として捕縛されたる理由を知らずと公言したる爲め場內遽かに騷擾を起したり中央黨社會黨進步黨及びポーランド黨の各辯士は獨逸官憲の亂暴なる方法に對して憤慨の意を表白せるが聞く所に依れば目下投獄中の者四百二十四名あり中百八十九名は單に外探の嫌疑を受けたる者にして倘居住の自由を奪はれたるもの千五十三名あり陸軍當事者は捕縛されたる者に對し各種精神上の苦痛又は勞役に服さしめ居れり被捕縛者の中にはルクヒンブルグの少女及び海外に於て獨逸を代表する高等外交官十七名を含めり社會黨議員は此の豫防捕縛は政治上の反對者に對する政略的武器なりと聲明せり此の捕縛の眞相暴露されたる爲め議員の憤激甚だしくヘルフエリツチは此の捕縛方法に就し一應辯明したるが議會を緩和する爲め精細なる調查を爲すべき旨約束したり(倫敦電報)

▲大邱虎疫終熄　卅一日夜より興衆せり……一時猖獗を……りと(大邱)

▲金海と東萊に發生　慶南金海郡邑……三十一日までの患者九十八名に達せ……の目的地と指定せられし釜山は……對しては海港に於て檢疫を施し且つ五日間……つるまで停留を爲さ事となりしが昨今に至り……山方面虎疫終熄に傾きしより……

果樹　苗木　觀賞植物　內外花卉　養成販賣卸小賣業　目錄定價表進呈　兵庫縣川邊郡山本村　百花園種苗場

農業世界　十一月號　米價調節の根本政策(松崎博士)中農減少の危險(鹿野山司)東業養鷄の秘論……を首め農事關係者の必讀す……　定價廿二錢郵稅二錢　東京本町　博文館

來る十一月三日立太子式御大典當日に付臨時休業仕候
大正五年十一月
朝鮮銀行
株式會社第一銀行京城支店
株式會社百三十銀行京城支店
株式會社十八銀行龍山出張所
同
株式會社漢城銀行
株式會社漢湖農工銀行
株式會社京城銀行
株式會社朝鮮商業銀行
株式會社韓一銀行

會計檢查院長子爵法學博士　田尻稻次郎先生著　歐洲戰後の財政及金融　四六判洋裝函入美本　定價一圓廿錢　送料八錢
□權威ある國家的著述□　著者夙に歐洲戰亂の勃發するや這般の大戰を我國運民命に關係至大なるべきを豫想し各種の方面より貴重なる資料を蒐集して專ら交戰國戰時經濟の表裏を比較研究し更に現下に及んでは問題の中心たる米國の是に處すべき態度より延して戰亂終局に處する各國の措置を測定し多年の蘊蓄を傾倒して此大問題に快刀斷亂麻的解說を下す宜なる哉著者の炯眼未だ他の意量せざる所を喝破して國人の趨勢に備ふる所を得んと天下に推ふ者是を一讀せば戰時の勝算忽ち現前するを……
發兌　東京市赤坂新坂町七二　江森賣捌　東京神田錦町一丁目　振替東京六二九四番　誠文堂

マドロスの悲哀　米窪太刀雄著　名取春僊氏挿畫　藤澤龍雄氏裝幀　四六判上製函入　定價一圓廿錢　送料八錢
□神秘的海洋精氣の發露□
輕妙酒脫絢爛一種の魅力を有する著者の才筆が描き出せるマドロスの悲哀は海の傳說港の女、船幽靈、酒場物語等を始として最も神秘的海上の自然と人生とを其豐富なる詩的情操に乘せて巧に描寫されてある海國に住むロマンチストの必ず一讀すべき新しき藝術正しき著者獨占の巨光である海洋文學第三編
太刀雄著　第六版　第三版　海のロマンス　船と人　定價一圓卅錢　送料八錢　定價一圓　四六判函入　送料八錢
發兌　東京神田錦町一丁目　振替東京六二九四　誠文社　東京神田表神保町　振替東京四一二三　中興館
朝鮮特約店　京城　大阪屋號　京城　巖松堂

◉明日こその日
また無き日ぞ祝ひ奉つれ 慶びまつれ御幸稱へ奉つれや

夜一夜を隔てゝ愈々芽出度立太子式の佳辰は近づいた期くばかり芽出度く悦ばしき佳辰に遭ふ事は吾々一生の中に恐らくは只の一度その上に今回の立太子式は明治天皇御制定の式に據る御盛典なれば我國民たる者は

▽此の吉日を 如何に奉祝の誠意を表し奉るかに就て津々浦々に至るまで數月以來考案を凝し準備をさ〳〵怠らなかつた處である我京城に於ても既に各町に於て奉祝餘興の趣向を凝し居る事なれば當日の賑はしさは今より想像するに餘りある處である既に發表された出し物飾物の外に吾町こそ劣らじ吾こそ

▽奇想天外の 趣向を凝らして他の町の人々を驚かさんものとの意氣込なりし模樣なれば當日の市中こそ花、紅葉一時に咲いて澄み渡る秋空に錦を織るばかりの京城始まつて以來の賑やかさを現出し夜は不夜城を欺き更けゆくまゝに祝ひの囃し山車、假裝の行列なんど歡びの聲充つることであらうそれに就いて服部警務部長の談によれば立太子式の當日は日本國民の

▽悦びの溢れ 出て、奉祝の誠を盡し其の餘興も亦定めし賑はしかるべしと想像するに難からず我京城市中に在つても今や虎疫は全く終熄し公衆衛生の上から見るも多人集合も又は祭典其他の爲めにさしたる危險を認むる程でないから此の點は懸念するに及ばず市中の景氣付の事に付ても斯くの如き

▽芽出度き日 の祝ひなれば出來得る限り取締も寛大にす可く唯だ程度を過ぎ風俗を紊すが如き事さへ無くば大いに賑やかに樂しく此の佳節の一日を祝ふが宜しからんと思ふ云々と

◉同志の白骨を胸に懸るに忍びず
西郷南洲翁に私淑せる故黄興の意氣
法學博士 寺尾亨氏談—(東京特電)

黄興の訃報は三十一日孫文よりの電報に依りて初めて知れり彼は最近日本を去りてより努めて同志の調和に腐心し例の孫文一派の確執なども

▽自ら進んで氷解 し主義としては支那の事は徒らに言論のみを以てすべからずとなし根強き武力を擁し自黨の政策を行はんとし北方の武斷派に對抗し猶力の及ばん限りは實際的勢力の扶殖に努力せり今回の馮國璋の副總統に當選したるも彼の希望の一部の實現とも見るべきなり彼は決して才物に非ざるも非常の膽力家にして事に際し

▽命を的にする位 は平氣なるのみならず一面非常の德望を有せり第一革命後袁より勳章を贈らんと云ひし時『同志の白骨を胸に掛くるに忍びず』と斷りたるが如く愛すべき氣性を有し日本人に好かれ又頗る西郷南洲に私淑し其の青年に對する言動を西郷に學ばんとせり新智識に於ては孫に及ばざりしも支那を知り支那人を解し

▽又東洋的氣骨を 有する所は孫よりも深く孫の理論家なるに反し黄興は實行家なりきと猶正夫人(四十)母堂(六三)と曉星中學校に通學中なる次男厚端次女節子は府下目白の
山
假寓に在り四日便船にて上海に赴く

◉大演習參加 飛行機海峽通過

大演習參加の飛行機は二日正午四機翼を連ねて關門海峽を通過すべし(門司特電)

◆立太子式と京城神社官祭

十一月三日立太子禮當日祭祀を行ふべき旨勅令第二三一號を以て公布せられたるを以て京城神社に於ても同日午前十時より中祭に準ずる官祭執行の事となり定刻前に社殿の装飾を了り齋主齋員參列員は拜殿前祓所に於て修祓を受け拜殿に參進して崇嚴なる奏樂の裡に谷村齋主昇殿御扉を開き奉れば副齋主以下十臺の神饌を傳供し齋主は諸員平伏の裡に立太子禮當日祭の祝詞を奏し玉串を奉れば總督代理、政務總監、李王家代拜其他文武大官神社大總代氏子總代其他玉串を奉奠すべく殊に當日は午後二時迄は御開扉のまゝに市民の參拜を自由ならしむべしと

◉瀆職事件判決

去る三十日大阪控訴院宮本裁判長より白川友一、増田穰三、水町此農夫、村井善四郎、板倉中、關信之介、根岸雌太郎、高津仲次郎に係る代議士瀆職事件控訴審の判決言渡ありたるが其主文理由左の如し(大阪)

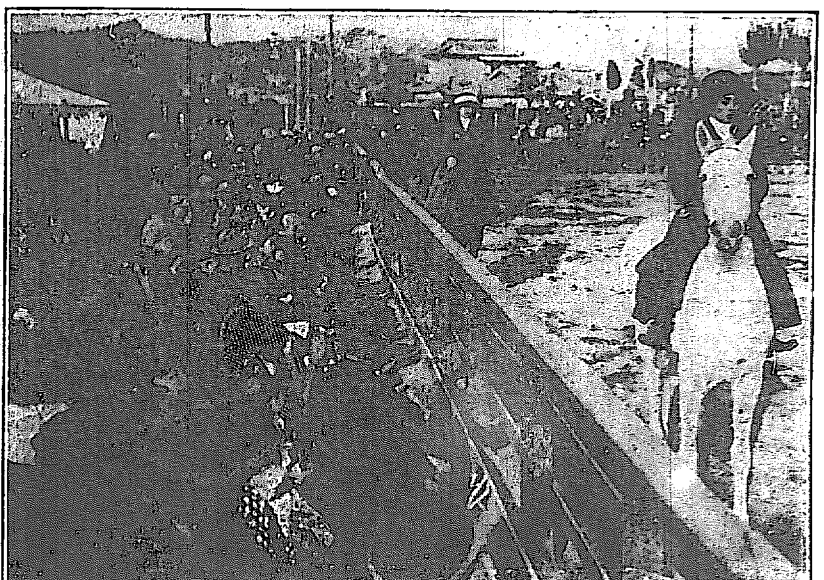
主文、原判決中友一穰三此農夫中信之介昭太郎に關する分を取消す
被告友一を懲役四箇月に處す
被告中を懲役六箇月に處す
被告穰三此農夫昭太郎を各懲役三箇月に處す
被告信之介を懲役二箇月に處す
被告友一に對し未決拘留日數三十日を被告中に對し未決拘留日數八十日を各本刑に通算す
被告友一穰三此農夫、中、信之介昭太郎に對し右刑の執行を猶豫す
被告此農夫より金一千一百圓被告信之介より金三百圓被告昭太郎より金二千五百圓を追徴す
押收物件は各差出人に還付す
被告善四郎仲次郎の控訴を孰れも之を棄却す
理由(略す)

◉瀆職事件上告

瀆職事件の増田、根岸、高津三名は一日大阪控訴院に上告の手續を爲せり(大阪特電)

◉痛手に屈せず 馬賊を捕ふ
勇敢なる坂田巡査

十月三十一日夜安奉線高麗門驛に於て馬賊四名乘車せんとするを發見したる坂田巡査は直に之を取押へんとしたるに其の内の一名は隱し持つたる十連發拳銃を發射したる爲め同巡査は右肩に貫通銃創を受けたるも屈せず格鬪の末遂に犯人を取り押へたるが他の三名は逸早く逃走せり坂田巡査は直に安東縣滿鐵醫院に入院したるが餘病を併發せざる限り生命には別條なかるべしと(安東特電)



天長節の乘馬倶樂部大會

◉駿足の轡を並べて
馬術練習所試乘大會

黄金町五丁目京城馬術練習所の試乘大會は天長節の菊日和とて既に午後一時頃より來觀者多く乘馬倶樂部員は何れも得意の騎馬運動を試み同五時過ぎまで仲々の盛會を告げた、中にも第二回目の速歩運動には東原孃、宮谷夫人、水波孃、植松夫人、野村夫人等の婦人騎手ありて喝采を博し次いで騎兵の高等馬術もあつた殊に野村師範の各種運動は最も面白きものにて鞍上人なき妙技であつたがお終の馬のお辭儀は尠からず子供客を悦ばせた猶ほお終のお茶には乘馬會員の一人たる小松前朝長の東部歸還に對し鈴木局長の送別辭ありたるが朝長は『東京に歸つてもなるべく馬場のある所に住ひたし……』と挨拶した、かくて乘馬會長古海警務總長の爲めにも乾盃し午後五時といふに芽出度く閉會した

◉兇賊丸裸となつて 刑事と大格鬪
▽被害約五百圓に達す

十月初旬以來釜山警察署管内に盜難續出するより同署司法部にては各方面を探偵中草梁中學校教員岩村某が數日前夜盜難に遭ひその被害品中に金筋入外套一枚混入せるを發見し同署野々上刑事は之れを好き搜査の手掛りとなし釜山管内を捜索中去る三十一日午前三時頃瀛洲洞の或空家内に點火しあるを發見し門扉を押し明け入りしに溫突内に

▲人の氣配 あるを知り障子を押明くれば之はそも如何に豫て捜査中なりし岩村教師の外套を頭より引被りたるまゝ見るからに體格偉大なる曲者高鼾きにて熟睡し居り枕元には贓品と覺しき風呂敷包ありたるを發見せしかば之れぞ釜山管内を荒したる兇賊吉村直治に相違なしと直に捕繩を打かけんとせしに曲者はムクと跳ね起き裸體の野々上刑事に組み付き狹隘なる溫突内にて上を下への大格鬪中賊は何時の間にか丸裸體となり直ちに

▲溫突外に 飛び出でたれば同刑事は逃してはならじと再び戸外にて大格鬪を再演したるが賊は手早く小石を手に持ち野々上刑事の面部頭部を滅多打に打付け或は手首に嚙付きたるも刑事は屈せず遂に逮捕したり賊は山口縣豐浦郡の生れ吉村直治(三〇)と云ひ京城に於て前科三犯あり其後大連に渡り昨年

▲原籍を僞 り初犯なりとて七箇月に處せられたる事あり去月三十一日迄に釜山署管内にて窃取せし金品は判明せる丈けにて五百圓内外に達し重なるものは土城外秋山賢次百五十圓草梁岩村教員五十圓土城外大和稅關吏五十圓本町三丁目中澤よね百八十圓等の被害あり其外目下取調べ中(釜山)

◆竹添町の火事
婦人一名火傷を負ふ

三十日午後十時頃京城竹添町三丁目李性淳方より發火し常備消防出動居宅一棟燒失したるのみにて約三十分の後消止めたるが損害約六十圓なり原因は同居人朴基仲妻丁姓女が幼兒四名と共に就寢中枕元に點火しゐたる洋燈を轉覆して遂に發火したるものにて出火の際李惟淳妻金姓女(三一)は頭より背に掛け火傷を負ひたり

◉數百の風船玉
を上げて平壤幼稚園奉祝

十一月三日立太子式奉祝の爲め平壤幼稚園に於ては園兒七十名を數臺の自動車に分乘せしめ立太子奉祝唱歌を合唱し平壤市街を驅走しつゝ車上より數百の風船玉を飛ばして奉祝の意を表し奉ると共に該風船球に數十枚の景品券を添附して拾得者に左記景品を與ふべしと
景品一等白米一俵二等反物一反三等時計一個四等硯箱一反五等硯箱以下十等迄景品數十點

◉仁川神社例祭準備

仁川神社例祭の準備は祭典委員に依つて其々計畫及び着手されつゝ有るが三四兩日は境内に於て餘興花角力奉納の事は既に決定し商店其他より金品の寄贈頗る多き由なれば兩日晝夜に於ける角力は盛況を呈す可く京仁各方面よりの飛入勝手たりとの事なるを以て好角家の來仁する者多かる可き見込みなりと

◉學藝展覽會盛況
仁川高等女學校學藝品展覽會は三十一日より十一月一日午前中迄開催されたるが三十一日は天長節祝日と言ひ朝來よりの好天氣なりしを以て來場者頗ぶる多く其數五千餘に上り終日場内は雜沓を極め賣品の如きも裁縫手藝品を合せて數千百餘點の中當日中に千餘點は賣約濟みとなりたる程にて豫期以上の好成績を上げ得たり、一日は前日に比しく來場者尠かりしが松永道長官、久水府尹等の來觀ありたり(仁川)

◉中村學士遺骨

故總督府技手林學士中村孝彦氏の養兄靜岡聯隊司令部々員出羽少佐は一日來京總督府に出頭し諸般の手續を了へたる後遺骨を受取れり氏は二日退京の筈なるが葬儀は郷里東京に於て執行す可しと

◉愛婦家族會
愛國婦人會朝鮮本部にては三日立太子禮奉祝の意を表する爲め家族會を開催する事となれり、會場は有樂館にて午後一時開會四時散會とし大田高等女子普通學校長の立太子禮講話ありたる後筑前琵琶、義太夫、活動寫眞等の餘興を演ず可しと

◉祝日と博物館

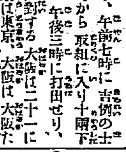
總督府博物館並に商品陳列所は立太子禮祝賀の當日卽ち三日には開館せず館を閉ぢて祝意を表することゝなれり

◉梅崖畫伯歸京

先月來金剛山探勝中なりし畫家山本梅崖氏は金剛山探勝後咸興に遊び沿道行々揮毫を爲し三十一日歸京したり

◆景氣立つた大相撲

兩三日來の秋雨も三十日は全く歇んで天氣は晴れたり未明より觸れ太鼓打出す櫓太鼓は千日前の中天に響いて京阪合併大相撲は大阪一流吉例の大入を開場せり相撲場は目貫の千日前の東裏通りに三千間四面の掛小屋も手廣く場内の入口小路の角には京阪の各人氣力士へ寄贈の幟が林立して景氣を添へ木戸を跨して大幟が美事に出來より其東に東京大阪の三枚番附が張出されたり元來此の大入なるものは大阪式の慣例にて當日相撲を取の初日と同樣[illegible]値段にて客を入れ當り入りなるは幕下までにて幕の內力士は單に土俵入りか顔見せ同樣に出勤するのみ其れ故に東京の本場所の以前の十日間相撲を見に行つたやうなものなり、午前七時に吉例の土俵まつりを執行して八時から取組に入り十兩下まで總計七十番を取つて午後三時に打出せり、成績は東京の勝四十一に對する大阪は二十一にて半數の差違を示し東京は東京、大阪は大阪たることを證據立て居れり初日の顔觸れにて東京より缺勤は大刀山兩國榮雲龍近江富士稻葉嶽等又大阪方は小染川朝千鳥綿絨小綠時ヶ嶽鯉千嶽鳴戸岩等休場、右の內大刀山は神經痛とか左の手首を痛めしとかにて大阪に寄らず福知山より東京へ歸れり東京方の年寄鳴戸は病氣見舞ながら出勤を斷るため上京せり或は押して出場するやも知れず大阪方の大關小染川はチブスにて出勤出來ず病床にて殘念がり居れり彼れの意地と熱心より小供々々した體格の彼れをして大關にまで必ず進ぜしめたる所以なり(大阪支局)



△有樂館 二日より新派劇合せ鏡全三卷吉例の大喜劇一幕あり 今回は特に連續劇一幕を加へ出すべき由 その主なる寫眞左の如し △寶石布哇の風景▲滑稽

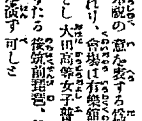
【鬼劍】梅吉全三卷百世場△泰西活劇賞金全二卷

叶はぬ戀△喜劇假裝舞踏會と優勝者△正劇名画△舊劇

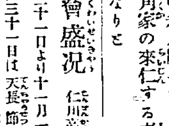
▲山村連秋季溫習會 山村連の秋季溫習會は二日午後五時より壽館に於て開催す、その番組左の如し

△夏夕(吉之助)△わしが國さ(榮太郎)△松の名所(一休庵千代子)△紀伊の國(大榮子)△白ぺうし(淺田しづ子)△まし(小田あさ子)△かむろ(丸や)△北洲(菊水)△鐘が岬(中しげ子)△ほんし(はなれ)(海老やつぼみ、淸水席小太郎)△月の山(うば、さき子、梅や八千代)△山めぐり(つたや)(つたやてる子、あさこま)△ひな子)△鶴龜(間のき)夕暮(吉之助榮太郎)

▲鐵道對倭城 野球戰



鐵道倶樂部對倭城倶樂部の野球決戰は三十一日午前十一時龍山で舉行されたが結局十二對十一のスコーアで倭城の勝となつた此日は丁度天長節の祝日の事とて觀客は仕合開始前から既にグラウンドの周圍を取包き却々前景氣は好かつたが仕合は全く期待に反しスコーアの大きい事ミスの多い事まるで小學校の野球でも觀て居る樣な感じがした、倭城投手のヒヨロ〳〵した提灯球と鐵道投手のカブの無い直球とは共にスコーアを大ならしめた最大原因で守備は老巧の鐵道却々見捨難い所はあるが打棒の方は餘程倭城より劣つて居つた樣に思ふ



天長節の乘馬倶樂部に來た鍾路青年會學校の高井文學士はあの巨きな身體に長靴を穿いて『僕は最も新らしい門弟だ』と笑ひながら△『僕が騎ると始めは馬が衝立つたまゝで如何にも重たさうに嘆息するから氣の毒でならぬ……』△三十日夜入京して淸雲洞の鵲巢居に入つた蘇峰先生は天長節の早朝裏山の北門附近に登つて雉子を捕られた△『何うも不思議なことがあるものぢや……』と先生は餘程嬉し相である△日向葵の實は稚の實のやうに美味しいものであるがまた珈琲のやうに製つても風味がある△現に獨立門外弘濟院の佐々氏の農園では日向葵珈琲を拵へて自分に用ゐて居る

◉愛婦役員會
愛國婦人會朝鮮本部にては三十日午後二時半より事務所に於て役員會を開き山形、宮谷其の他の役員十數名出席し三日立太子禮當日に家族會開催其の他二三の件に就き協議の上四時散會したり

◉簡易商業專修學校 日出小學校內の簡易商業專修學校夜學校にては一日より第二學期開始、此の際希望者の入學を許す由

◉糸島郡人集會 京城糸島會發起にて三日午後二時よりパゴダ公園に於て在住糸島人記念撮影の筈にて參集者多數を希望の由にて希望者は旭町一丁目總督府官舍西氏へ

◉通俗講演會開會
京城食料品組合にては二日午後八時より京城商業會議所に於て通俗講話會を開會すべしと

中財襲撃 … 廳した … 射撃 …

▲平南面有財産現在 … 一六三坪四合收入二六七圓三五錢現金三九一圓一四錢なりと而して山 … 同郡林原面所在の … 校同尋常高等小學校第二尋常小學校 …

… かに一名を出せるのみ府民は何ほ警戒しつゝあり因みにコレラ發生以來 …

▲清津と檢疫 … 元山 …

▲釜山益々下火 釜山の虎疫は漸次下火となり去月二十九日迄の發生累計は百十六名なるが二十八日 …

京日案内 普通

◉乳香子預り度し 乳多く血統正し 御預けの御方御報知被下度 京城新町三丁目一七番 牟田キワ 633

◉狂犬病豫防注射◉尿姙娠診斷犬猫診 入院廿五錢◉本町三の七十番地 電話取次一四一一番 高木獸病院 635

◉金融 月收の方に極秘信用貸又は立替等御報伺上來談 本町電車終點花園町部 大和屋 434

古本なら野村 買入誠實御報參上 明治町筋通二六三六 野村書店 636

◉店員入用 歳二十歳前後市內保證人を要す本人來談あれ 太平通二丁目 遠藤味噌醬油店 京城 628

◉商工電氣科出身廿三歳有經驗商店及會社に奉職したし俸給望ます 有確實保證人 姓名在社 632

▼大正六年當用懷中日記大割引販賣 本町二◉電二五二七 ウツボヤ書店 591

◉金融 月收の御方へ極秘信用融通 便宜立替御報伺又御來談 大和町三ノ三二(柄澤前)起木屋 624

有給外交員及派遣員採用月收確實 希望者履歷書携帶本人來談あれ 櫻井町一の七三 日鮮圖書普及會 625

◉和服裁縫徒弟入用 女子にして裁縫從事したき者數名至急入用 京城壽町一七 高野屋大橋 623

◉寫眞○開業五周年紀念大割引の活動寫眞入場券進呈○天長節より 黃金町電話一四三四 高等寫眞館 616 上

◉看護婦募集 外勤多忙に付志願する者履歷書携帶午前中本人來談 南山町三電話一八一七 宮林看護婦會 613

◉古本 高價買入 京城本町三丁目 東京堂書店 446

◉貸家 溫突付日本建 五間半 官吏別莊的 三坂通練兵場上 管理人 龍山印刷局先 畑中 606

番外 ◉はねつぎ うちみ くじき等 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 584

◉礦物定量分拆 京城府太平通(朝鮮公論社左小路) 電話一三四四番 坂元分拆所 614

貸家 場所 京城永樂町二丁目七番 日本建平家瓦葺 間取八疊四ツ六疊三ツ四疊半六ツ三疊二ツ 紳士住宅向 官吏向又ハ 京城本町二 釘本商店 589

◉鮮語科 新學期三ケ月修業 ◉英語科 各級補缺 入學許可 南大門通(漢城銀行前)京城青年會 617

鑛物分拆 鑛山測量(電話一八九九) 京城鐘路二ノ九九 夫れ夫れ專任技師に依り正確迅速 金石商會 603

家具木取 販賣 注文 製材乾燥 內地材 見積書送る、付次第 鑛山用ゆり鉢 ◉本明 雜木製材所 敷地梁栓櫻柱檜 其他雜木各種 京城黃金町三井物產前 585

毛皮なめし並に仕立 鳥獸剝製調進販賣 京城本町二丁目電話二〇六五 檜元商行 612

◉銃砲火藥 獵具 京城本町三丁目電話二〇九二番 増戸銃砲店 488

▲各種鑛物分拆 京城太平通二の二三〇 元朝陽分拆所 電話二八二三 松永分拆所 566

◉京城春川間毎日午前八時出發 ◉南大門通一丁目 廣橋自動車 電話二一九番 主務 金正淵 630 組

京城春川間 乘合自動車 賃金片道四圓 京城發前八時 ◉京城水標橋通り 電話貳壹參八番 ◉春川發前八時 京春自動車商會 支配人 松田壽男 631

新刊書御案內

書名	著者	定價
放浪漫記	大倉桃郎	三、〇〇
自警	新渡戸稻造	一、七〇
大戰外交史	長岡春一	二、五〇
報知懸賞住家設計圖案	佐藤功一	三、〇〇
校訂源氏物語詳解	池邊義象 鎌田…	三、五〇
日本美術史講話	黑田鵬心	特一、八〇
帝國南進策	副島八十六	一、〇〇
支那論	山路愛山	六〇
きつと當る相場のかけ引	林…	二、〇〇
日蓮主義講話	小林一郎	一、三五
印象派以後	木下杢太郎	一、五〇
レオナルド二篇	木村莊八	一、〇〇
機略縱橫	南大將中原	九〇
小說浮草	長田幹彦	八〇
白秋小品	北原白秋	一、〇〇
ゆかり文庫	泉鏡花	一、五〇
繪入訓話	大町桂月	五〇
世間學	村上濁浪	九五
人生の旅行	同	九五
英語正解法 上中下	佐川田	各一、〇〇
獨修佛蘭西語研究	前田	七〇
大增補實用ペン習字帖	…	三〇
無過失損害賠償責任論	岡松	一、一五
近世化學工業	吉武、小西、長野	二、六〇

京城本町一八四〇 二〇八六 振替京城二三七三 大阪屋號書店

物品拂下廣告
一護謨ホース及タイヤ類
右來ル拾壹月拾五日午後壹時京城稅關出張所ニ於テ入札賣却ス
大正五年拾月參拾壹日 仁川稅關

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も迅速と可成低廉を旨とし御需に應じ候 京城日報社 寫眞製版部

新刊圖書案內

書名	著者	定價
趣味の傳說	五十嵐力	一、二〇
人生の旅行	村上濁浪	九五
校刻日本外史	賴襄子成	一、二〇
自修リーダー研究	正則英語學會	九〇
彼等キップリング作	平田禿木	五〇
英文典新釋	清水起正	九〇
ゆかり文庫	泉鏡花	一、五〇
印象派以後	木下杢太郎	一、五〇
全譯名大物語	コナン・ドイル	九五
家事文庫、手藝	大友一恵	一、五〇
ドストイエフスキイ	昇曙夢	一、三〇
株式投機之手引	伊藤…	一、二〇
社會分裂の時代	中村孝也	一、三五
遊戲の實際	土居耕一	七〇
中等教科英和新辭典	佐久間信恭	特九〇
朝鮮行政法要論	永野清	一、〇〇
殖民原論	永井柳太郎	六〇
民法釋義物權編の下	中島玉吉	二、八〇
日本債權法總論	鳩山秀夫	一、八〇

京城本町二 電話一一六六番 振替京城二四五番

妻タカ儀病氣ノ處養生相不叶死去致候間此段辱知諸君ニ謹告仕候
追テ葬儀ハ二日午後三時自宅出棺新町高野山別院ニ於テ相營申候
十一月一日
西崎源太郎
親族
友人 一同

女鳩

渡邊默禪

（一四八）意外の變事

その三日目は鳩子にとつて實に悲しむべきブラックデーであつた。肉日であつた。

當日に限つて兎一頭の獲物すら無かつた遊獵隊は、驚くべき土産物を昇荷いて歸つた。土産物とは何か？それはほとんど人事不省になつた子爵の體であつた。

鳩子は一目見るや驚魂に打たれて、いきなり父の首に抱きついた。そして遂に顫れて聲を絞つて幾度か名を呼んだ。けれども子爵はうつとりとした白眼を幽かに開いて上を觀詰めただけで、何の返辭も與へなかつた。

大野は最うすつかり熱がとれて、午後から起きてゐた所だつた。で、子爵を小屋に擔ぎ込んでから、直と假の寢床に寢かしつけて、大要のとを從者に聞糺しながら、能きるだけの手當を仕始めた。彼の長所として、いつもこんな際には、冷靜に落ついて秩序立つた處置をてきぱきとつけるのであつた。

生駒のいふところと源作の報告とは、共に一致してゐたけれども或る部分に不明瞭な點があつた。

生駒は鳩子に恁う語つた。

『絶壁を越ねて奧の谷に進んで行きますと、牝牡二頭の大きな青猪がゐました。子爵と私は銃をとつて眞先にそれを打ちましたが彈は外れました。子爵は右へ牝を、私は左へ牡を追蒐けましたが、子爵の行かれた方には落松葉の林があつて、小高い急傾斜地が續いてゐるやうに見ゐました。そこで私は約二町ばかり峻しい傾斜地を追蒐けましたが、そのうちに猪の行方を見失つて了ひましたから、殘念ながら取つて返さうとすると、落葉松の林の蔭で銃聲が聞ゐます。さては首尾よく射止められたかなと思つて、その方向へ急いで駈附けましたが、實際までにつてそこらを眺めても子爵のお姿が見ゐません。はてなと思つて七八間横へ切れると足跡があります。それを便に何處までも追つて行きましたら、崖の上で行止つて、何だか其處から下へ摺こけたやうな跡が雪に殘つてゐます。如何したんだらうと不審しくて、下を覗いて見ると驚くではありませんか。高さ二十丈の餘もあるZの字彦の突角から、子爵は眞逆樣に落ちられたんですよ。落ちられたまゝ氣絶されてゐなさるんです。で、私は氣も顛倒して大聲でみんなを呼びながら、用意に腰に巻きつけてあつた麻繩で落葉松の根に結ひつけて、それを手懸に谷底へ落ちようとしたところへ私の叫聲を聞きつけた源作や人夫だちが、急いで駈著けて來てくれたんです』

何さま子爵は強く腦を打つたものと見ゐた。足が雪のない時季であつたなら、岩石に當つて體どとくにや／＼になつたかも知れぬ。幸ひに自然の保護がその被害を輕くしてくれて、今のところ生命にまではその危險を及ぼさぬ程度の腦震盪だけで濟んだ。いや濟んだとは言はれぬ。只及ぼさぬといふだけのことで、それが生命の棋擾に一時ぐらゐの距離があるのか、或ひは單に一ミリメートルだけの際だい所まで進んでゐるのか醫師の診斷を待たねば分らぬのである。只素人の直覺には、その血色の惡いところと、脈搏の多いのと、呼吸の不整なのと、瞳孔のぼんやりして紅く眼に充血してゐるのと、手足に何等の感覺がないのとが、尋常の負傷でないことが明かに映るのみであつた。

源作はさも氣の毒らしく頻りに太息をついた。そして大野の吩咐けるなりに、小舍の外から氷をとつて來て手拭に包みながら、子爵の枕にあてがつて、食用に持つて來た辛子を練つて足に貼つたりした。かくしてから徐かに語り出した遭難當時の有樣は恁うであつた。

栗

大田湖南吟社句集

頃斜路を落葉に濕める栗毬　待宵
栗ありて瓦に落つ家裏なり　同
麓より栗處々石切り小屋　同
岩に拔む鴫鳥飛んで栗落ちる　松年
栗山や毬燒く人の息白し　句笑
香にへばる生燒栗や齒強き　同
栗落つる座禪の僧の細目哉　青峰
土塀崩れ凹みに栗の溢れ毬　みどり
栗燒くや更けし山家の都客　同
栗食ひつ軍談を讀む旅夜哉　江月
栗燒きて寂友語る鄉戀し　春三女
山彦に暮れて歸れり栗拾　月波
栗燒けは子飼の猿の鐵鎖鳴る　淡水
夜長話に笑の柴栗の數少な　同
燒栗爐端に獵衣脫き捨てゝ　西水
乾葉に圍ふ山家や栗落つる　同
竹馬や栗の毬剝く宮ね立　雅溪
多着縫ふ妹に分てり双子栗　同
栗の山毬踏みし犬の足音り　秋骨
栗燒くや新開街の辻廣き　董水
山僧の史語りつ栗燒きつけり　風骨
卿む珠の動く石獅や栗の宮　同
杜曆剝くに燒栗炭はねし　同

新刊紹介

▲社會分裂の時代（中村孝也著）本書は全部六巻より成れる日本近世史の第一巻にして、從來多く見るところの歴史著類と頗る體裁を異にし著想組織共に一新機軸を出したるものなり、天文年間揃豹牙人の渡來を以て筆を起し、天保年間に至るまでの約三百年間を大觀して個性の發揚せる時代と、因襲制度の尊重せられたる時代とに過てること、先づ術に及ぼせる影響、貿易の進歩が海岸都市の發達を促せること、天主教の傳來が國民思想に及ぼせる結果、佛教の世俗化せる狀況及び天文、弘治、永祿より元龜、天正まで三四十年間に亘る戰國爭奪の活劇を說いて社會生活變遷の核子に觸るゝところ、最も精彩に富む、經濟、宗教、政治等の各方面より社會現象を觀察して、時代精神の露趨に徹到せんと試みたる著者の努力は、頗る多とすべきものあり、且此種の文化史的叙述は、從來最も缺乏せる所、本書は恐らく共渇望を醫すに充分なるべし、加ふるに章節の配置變化に富み、叙事あり、評論あり、宛ら山川原野を跋渉して、種々樣々なる光景を游覽する感あるを覺ゆ、所説一々出典を示し文章亦達健（一圓三十五錢東京市牛込區白銀町二〇育英書院）

▲自由思想史（大住嘯風著）カント以前に於ける泰西自由思想の歷史的變遷を叙述せるもの第一章序論として人類の自由思想に就て概括的に論じ第二章以下第五章迄の間に於て希臘古代の自由思想が羅馬に分れ歐洲諸國に移り爾來幾多の變遷を經て終にカントを生みし自由發展の跡を尋ねたるものにして所論温健傍證を得たり（四六版三百餘頁一圓二十錢東京市牛込區神樂町二の二二天弦堂）

▲婦人世界（秋季增刊嫁入支度）本號にて最も見るべきは婚禮衣裳調度品一切の積り書に中流家庭を標準として千百圓の場合と七百圓の場合と二標に分ち三越吳服店に於て調査したるものなれば婚姻期の女子を有つ家庭には甚だ參考となるべく其他『結婚前の修養』『結婚前に特に調查すべき二大要件』『如何なる良人を選むべきか』『問題の研究』『離婚の始まりから嫁入迄の苦心』等十數篇の有益なる記事あり結婚時期に入る今日此頃父兄や子女に取りて緊切なる問題多し（十七錢東京市京橋區實業之日本社）

▲男女和合の秘訣（青柳有美著）上編夫婦の卷中編兩性の卷下編生理の卷の三編より成り著者獨特の見解を以て最も卑近の事實に就き徹底的に論述し露骨に男女の相互的の理を説き夫婦和合の道を解說せるもの何人も能く其旨を了解すべし（三五版二百九十頁七十五錢東京市麴町區有樂町一ノ四精華堂）

▲朝鮮之副業（十月號）日鮮兩語を以て編輯せる農家副業獎勵の雜誌にして本號には治水の要は農業振興に在り『綿地六三郎』朝鮮に於ける棉作に就て『朝鮮の外苧桑利用は朝鮮の一大財源』有望なる朝鮮の除蟲菊栽培及農業法廣狀林産地方通信の各欄皆農家副業の好資料にして家庭工業の獎勵と特殊部落の研究は興味ある文字たり（十五錢京城大和町一ノ四六共社）

▲日露協會報告（創刊號）日露貿易振興策外三の論說を卷頭に以下製茶、琥珀、織物、鐵山、雜貨、日本靴、銀行其他化學工業品の狀況を列記し尚本年一月以降の對露輸出入重要品及露國貿易實況銀行定款を附錄せる本誌の發刊を歡迎す（定價不詳東京市麴町區內幸町一ノ三日露協會）

▲婦女界（十一月號）本號にはかすゝの婦人過に於ける修養『鳩山春子』健康と修養との密接なる關係『澤村博士』丹波病の豫防と手當『野谷醫學士』精神病者及ヒステリー患者看護の心得など始め洗濯、裁縫、料理、活花など主婦の讀み物を滿載し小說『愛き身』『柳川春葉』は益々佳境に入つて眞に一讀斷腸の思ひあらしむ（十八錢東京市牛込區加賀町婦女界社）

▲住宅（十月號）幾多の寫眞及圖面を挿入し住宅建築に關する各種の記事を收む（五錢東京市芝區琴平町一住宅改良會）

▲民聲（十月號）政友會健全なりや、寺內內閣の政方針、女役者の內幕等（十錢東京市麻布區一本松町八其社）

▲木太刀（十月號）花火、尾花、相撲、朝顏等の撰句の外引き續き諸國の七夕を載す（十八錢東京市牛込區築地町一二其社）

◉初冬とホーカー液の賣行劇增　美人となる化粧料として好評に好評を重ね今は東洋第一の誇となれる堀越嘉太郎商店の家庭化粧料ホーカー液は顏の荒れる初冬の時期に際し肌のアレを防ぎ色を白く若々しき美顏とするの効著しきを以て紳士淑女小兒用として需要劇增しその賣行目覺しく各小間物店藥店よりの大注文引も切らずと云ふ

◉川合式强健術の好評　日々僅かに五分間の運動にて强健となる川合氏の强健法は力學解剖學を基礎として發明せられたるものにして姿勢矯正頗る文明的の體育法なりとの評判にて各縣教育界中學校商業學校等にて川合氏を聘して傳修せる向き頗る多く過般葉宮殿下の御前にて台覽に供し忝くも御賞讚あらせられしと云ふ著書『强い身體を造る法』（定價一圓七十錢）は發行後三旬を經ずして四十版を重ねしと云ふ（發行所東京日本橋區馬喰町興文社）

◉新、新六〇六號　『サルバルサン、ナトリュム』は獨逸エールリヒ博士秦尾の發明に係り『子オ、サルバルサン』に更に一段の進歩を加へたる最新梅毒劑にしてサルバルサン劑中唯一理想の宗壁と稱せらるゝ所のものなり本劑は歐洲戰禍の爲め未だ本邦に舶載を見ざりしが其製法は雖に慶松博士に依り研究完成せられ『子オ、子オアーセミン』と稱し『アーセミン』（新サルバルサン）と共に高橋博士の檢定を經アーセミン商舍より發賣中の處其の使用法の簡易なると効力の確實なる點に於て非常の好評を博し一時注文に應じ切れざる盛況なりしが今回製造規模の擴張と共に如何なる多量の注文にも應じ得る事となりたる由なり

▲富の道しるべ　山縣五十雄　村上唯吉共著　價十五錢　郵税二錢　京城太平通　振替三〇〇番　京城日報社代理部

市況

下關期米特電

[illegible]立歩々たる雨に米價は大勢とは全然別個の[illegible]

仁川米豆取引所

安値	一四、四五	一四、八三	一五、四五
止め	一四、五〇	一四、九一	一四、四九

▲早くも保合　[illegible]七圓さ返[illegible]と保合の裡に小堅き成行を示し[illegible]

▲後場の手振　[illegible]

一日の一月限

賛化病院　京城本町二丁目　電話二四二番

內科　小兒科　入院隨意

無料施療す　毎日五名を限り

醫學博士　古城憲治

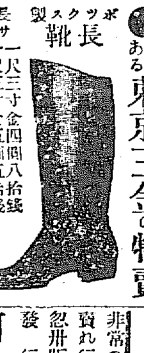
岡山醫學士　上野亮藏

M EP　品質本位　大阪唐物町四丁目飯田商店

信用ある東京三金の特賣

第一號　金貳圓五拾錢
第二號　金參圓五拾錢
第三號　金四圓五拾錢
ボックス革製編上型

ボックス革製深ゴム
第一號　金貳圓九拾錢
第二號　金參圓九拾錢
第三號　金五圓五拾錢



ボックス製長靴
長サ一尺三寸　金四圓八拾錢
一尺五寸　金五圓五拾錢

右の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造せし品なれば一般官用紳士靴として好適なり
▽御注文の節は靴の種類と足袋の文數御通知あれば代金引換小包（送料實費）にて送附す
最新目錄無代進呈
東京市芝區愛宕下町　電話芝六九〇番　振替東京一七一三番
三金高等靴店

横濱　純粹培養　牛乳　ヨーグルト
場主獸醫　肥塚正太
京城蓬萊町四　東亞牧場（電話五二一番）

內國食料品共進會　一等賞　「金牌受領」
大日本優等清酒　松上鶴
陸軍用達　丸三合資會社　大邱府幸町（電話三五一）

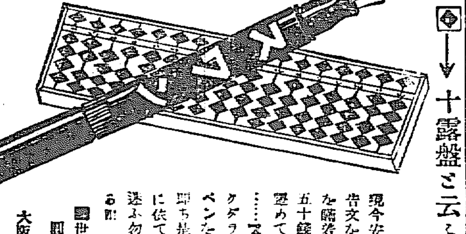
男の生殖器病

生殖器發育不完全で包莖とか陰萎、早漏、遺精、夢精、勃起不全、交接不快、快感減少、腦神經衰弱などの人は自宅で簡單秘密に新案特許眞空療法器と原因療藥を併用する時は一回毎に効力が現はれ豫想外の偉効に驚くべく知名博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞讚は湧くが如しハガキで申込あれ圖入說明書は無代寄送す直接來所者には醫院部にて懇切に說明す

一度實驗せよ効顯卓絶

東京神田區小川町五　電話神田七二二番　東京眞空療法研究所

十露盤と云ふ計算器有るを知れり哉



現今安價な日常呼物に種々なる名稱を附し誇大なる廣告文を弄し其効用を具備せざる安物を眞事らしく顧客を瞞着せる者あり!!!
五十錢や壹圓のペン物を三本も四本も求めて後で眉を顰めて嘆つ方は最も信用ある……スワン萬年ペン……の有るを知らざる人の愚クダラヌ物を數買ふより初めから貳參圓のスワン萬年ペンを購はれば優に八九年間の使用に堪へ得るに非ずや即ち是れが御安全御得策なるは十露盤と云ふ!!!計算器に依て明かである!!!
迷ふ勿れ萬年ペンは社會に絕對の信用あるスワンに限る!!!
■世界到る所の文具店に販賣せり定價貳圓以上拾弐圓迄
■カタログ進呈
大阪市東區平野町貳丁目　スワン大阪出張所

非常の賣れ行　忽卅版發行

大正六年御壽寶
大正六年農家暦

何人も明年の開運法は御壽寶にて決せよ農家暦は天文氣候農事諸相場年中必要十餘通
募集　本書に依て特約販賣望人一冊請求と同時に照會あれ部數割引
一冊定價　金十五錢　郵税共
一冊定價　金十五錢　郵税共
發行所　東京本郷區湯島四丁目　高島易斷總本部　神誠館

色モスリン
原料引續き暴騰に付
尺一錢宛値上げ仕候也
十一月一日
京龍吳服商組合

日韓書房　新版報告
芳賀杉谷編　作文講話及文範　定價一圓四十錢　送料十二錢
芳賀杉谷編　書簡文講話及文範　定價一圓四十錢　送料十二錢
西島良爾著　新編支那語教程　定價一圓二十錢　送料十二錢
長塚節著　土　定價九十錢　送料十錢
泉鏡花著　由緣文庫　特價一圓二十錢　送料十二錢
京城本町二丁目　朝鮮振替口座一四五番　電話一一五番

診察時間　自午前九時至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院　電話八二二番

特製品

最上醬油
朝鮮仁川隆
高杉醬油釀造場

大邱浦項間自動車發著時間
上り　浦項發　安康同　永川同　河陽同　大邱著
下り　大邱發　河陽同　永川同　安康同　浦項著
電話一二七番　大塚農場自動車部　大邱出張所

金泉醴泉間自動車發著時間
上り　金泉發　尙州著　尙州發　龍宮發　醴泉著
下り　醴泉發　龍宮發　尙州著　尙州發　金泉著
▲小荷物運搬仕候
金泉織居自動車支部　金泉電話四八番

日本郵船仁川出帆
○大連、大沽、牛莊行
相模丸　十一月九日　正午出帆
高砂丸　十一月廿日　正午出帆
三河丸　十一月三十日　正午出帆
仁川海岸町一丁目　電話十一番　堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神阪行
○大有丸　十一月三日後四時出帆
○君か代丸　十一月十日後四時出帆
○神代丸　十一月十四日後四時出帆
○秀吉丸　十一月十六日後四時出帆
仁川海岸通一丁目　電話五十九番　高杉回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行　關東都督府命令航路
第十一共同丸　十一月五日入港　十一月七日正午出港
朝鮮鐵道主要驛にて貨物取扱仕候
阿波共同汽船株式會社
本町四丁目　電話二七三番
仁川代理店　野口商會
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　河村運送店

大阪商船仁川出帆
○外航路所航路並洋航路を除く其他は五分割を以て連絡切符發賣仕候
○群山、木浦、釜山、關門、神阪行
安東丸　十一月九日　後五時出帆
濟州丸　十一月六日
○木浦、釜山、嚴原、鄉の浦、長崎行
信濃川丸　十一月七日　後二時出帆
群山丸　十一月廿五日
○群山、釜山、横濱行
福州丸　十一月廿八日　後二時出帆
潮州丸　十一月十七日
○木浦、釜山、關門、神戶、大阪行
天智丸　十一月四日　正午時出帆
○釜山、横濱行
福州丸　十一月三日　正午出帆
○鎭南浦、大連行
信濃川丸　十一月二日　後二時出帆
信濃川丸　十一月廿日
○大連直行
福州丸　十一月廿二日　正午出帆
○鎭南浦、龍岩浦、安東縣行
潮州丸　十一月十三日　正午出帆
○濟津、浦潮行（元山出帆）
印八城津丸　十一月十五日　後二時出帆
○安平丸　十一月
○宮島丸　十一月
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
基隆丸　十一月廿九日後四時出帆
湖北丸　十一月十三日前六時出帆
御注意　切符發賣所　大阪商船株式會社仁川支店　電話二〇五五番
京城切符發賣所　內國通運會社支店　電話七〇八番

朝鮮郵船仁川出帆
本社　京城南大門通　電話長一九五二番
京城荷客取扱所　松原運送店（電話長一七〇番）
○金剛丸　十一月十六日　釜山發
○京畿丸　十一月六日
○黃海丸　十一月十二日
○成鏡丸　十一月二日
○穩城丸　十一月四日　元山發
○昌平丸　十一月二日
○鏡城丸　十一月
○第二錦江丸　十一月七日　元山發
○忠淸丸　十一月一日
○平壤丸　十一月十三日
○德丸　十一月十三日　釜山發
○江陵丸　毎日　浦項發
○裏陽丸　毎日　釜山發
○三浦丸　十月三十日　釜山發
○海州丸　○統營丸　毎日　釜山發
○順天丸　三日目毎ニ　木浦發
○慶興丸　十月　日　木浦發
○慶興丸　十一月二日　木浦發
○公州丸　十一月三日　木浦發
○宗仁丸　十一月三日　仁川發
○江原丸　十月　日　仁川發
○麗水丸　十一月一日　仁川發
○晉州丸　十月　日　仁川發
○全州丸　○南陽丸　毎日午前　仁川發

汽船釜山出帆廣告
門司、神戶、大阪行
○小倉丸　十月卅一日後五時出帆
○立神丸　十一月一日後五時出帆
元山、淸津、浦潮行
○小倉丸　十一月一日後十時出帆
○立神丸　十一月二日後四時出帆
元山、西湖、新浦、城津、淸津行
○第三海東丸　十一月二日後六時出帆
門司、宇品、神戶、大阪行
○第三共榮丸　十月廿八日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天眞丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日午後十時出帆
釜山港辨天町　本船取扱店　大池回漕部

◉生活難から自殺　京城患[illegible]